

Sport Fukushima

スポーツふくしま



49
2026.3

公益財団法人福島県スポーツ協会
Fukushima Sport Association

Let's play Sports together!

みんなでスポーツを!



@FUKUSHIMA.SPORT.A



「スポーツのふくしま」

公益財団法人福島県スポーツ協会

専務理事 飯塚 悟

日頃より、県スポーツ協会の活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本協会は、北村清士会長を筆頭に豊富なスポーツや学識経験を持つ役員、加盟競技団体、各関係組織・団体で構成され、スポーツの推進、とりわけ「競技力の向上」「生涯スポーツの推進」を目標に各種スポーツ事業に取り組んでおります。

「競技力向上」では、昨年度の国民スポーツ大会「わたしのSHIGA輝く国スポ2025」において、総合522点・26位となり、16大会ぶりの20位台の成績を収めることができました。(R5 328.75点で42位、R6 401.5点で37位)

大きく順位を伸ばせた要因として、ウエイトリフティング競技(61点)、陸上競技(55点)、カヌー競技(41点)、自転車競技(38点)、水泳競技(31点)などの個人競技の活躍に加え、ソフトボール競技(100点)、サッカー競技(60点)、ソフトテニス競技(35点)、ビーチバレーボール競技(21点)などの団体競技でも上位入賞を果たしたことが挙げられます。また、上記以外の競技においても、本県選手団の特徴である決して最後まで諦めない粘り強さを発揮し、全国の猛者とのギリギリの闘いを制する場面が数多く見られ、その結果一点一点を着実に積み重ねたことも順位を引き上げる要因に繋がりました。選手・指導者の皆様の不断の努力、そして支えてくださった関係団体・ご家族の皆様のご尽力に深く敬意を表します。本協会といたしましても、引き続き「競技力の向上」を重点目標に育成・強化事業を推進してまいります。

「生涯スポーツの推進」では、県民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しめる「生涯スポーツ社会の実現」に向け、各市町村・関係団体と連携しながら各種事業を展開しております。スポーツは健康の維持・増進だけでなく、地域の絆を深める力を持っていることから、本協会では特に、「総合型地域スポーツクラブ」の質的・量的充実を図る取組を進めており、総合型地

域スポーツクラブへの支援を通して、子どもから高齢者まであらゆる世代の方々が気軽に参加できる環境整備を推し進めております。

また、スポーツ少年団事業も大切な取組となっております。事業の一つである「日独スポーツ少年団同時交流」では、スポーツを通じたSDGsの実践、地域社会への貢献の考え方など、多くの示唆を得ることができ、改めて国際的な視点を持ちながら、スポーツの価値を県内に広げていく必要性を痛感しました。具体的な例をあげると、ドイツの指導者は、「スポーツは子どもたちの将来への投資」と考えており、「友情」「正直」「感謝」「価値」「自制心」「謙虚さ」「真剣さ」「礼儀」「尊敬」「勇気」などの人間性をスポーツを通じて学ばせ、日常生活でトライアンドエラーを繰り返して実践しながら、幸せな社会作りに貢献する人材育成を行っております。少子高齢化や働き方改革など社会情勢が激しく変化する昨今、スポーツというツールをうまく活用し、生活や心の豊かさ、人材育成に繋げていくということは、我々にとっても大切なミッションであり、今後もドイツや他県の事例を参考にして調査・研究に取り組んでまいります。

結びに、スポーツ協会の重要な役割の一つに、「スポーツの文化や価値を高める」ことがあります。そのためには、チームメイトだけではなく、相手選手やチーム、審判(レフリー)、運営で支える方々、それを支える御家族など、すべてにリスペクト(敬意と尊重)の気持ちを持つことが欠かせないと考えております。スポーツを通して幸せな時間や楽しさをたくさん味わうためにも、スポーツを支えるすべてに感謝する文化を育てていきましょう。そのことが「笑顔あふれるふくしま」や「スポーツ文化の発展」に繋がることを信じて、協会一同これからも頑張ってまいりますので、今後も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

目次

P1 巻頭言

競技スポーツ～選手の育成・強化に関する事業～

P2 第79回国民スポーツ大会 関連情報

P8 第80回国民スポーツ大会冬季大会 関連情報

P9 ふくしまスポーツキッズ発掘事業

P10 スポーツふくしまビルドアッププロジェクト

P11 ふくしまゴルフプロジェクト

P12 競技団体紹介

P13 福島県スポーツ協会 表彰式

生涯スポーツ～スポーツの振興に関する事業～

P15 子ども運動啓発事業

P16 スポーツ医事・トレーニング相談事業／アンチ・ドーピング教育・啓発事業

P17 指導者養成・研修に関する事業(日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会)

P19 指導者養成・研修に関する事業(福島県スポーツ指導者研修会＜更新研修会＞)

P20 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格関連情報

P21 認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会

P22 認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会

P23 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業

P26 広域スポーツセンター事業(日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会)

P27 福島県スポーツ少年団事業

インフォメーション

P29 チャリティ事業

協会の概要

P30 令和7年度組織概要

P31 令和7年度事業概要

P33 賛助会員



福島県政150周年
記念ロゴマーク

福島県政150周年

福島県は、令和8年(2026年)8月21日に県政150周年を迎えます。

表紙写真説明

上段：親子体操教室

中段中央：国民スポーツ大会 ソフトボール競技 少年男子選手

下段左：東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会

下段右上：スポーツ医事・トレーニング相談事業

中段左：国民スポーツ大会 ソフトテニス競技 成年女子選手

中段右：表彰式 特別賞(齋藤ゆず選手、内堀雅雄名誉会長、北村清士会長、佐々木真菜選手)

下段中央上：福島県スポーツ指導者研修会

下段右下：ふくしまスポーツキッズ発掘事業「体験プログラム」

下段中央下：福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・研修会事業



第79回国民スポーツ大会成績

① 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R 7. 1/26(日) ～2/ 5(水)	群馬県 馬場市 川島市 山形県 敷島町	鈴木 優 樹	2	8	3	27	38
	スキ－競技会	R 7. 2/13(木) ～2/16(日)	秋田県 鹿角市	阿部 和 博	1	8	3	31	42
本大会		R 7. 9/28(日)～10/ 8(水) 会期前競技： 9/ 6(土)～15(月) 9/21(日)～9/25(木)	滋賀県 大津市 津市 他	北村 清 士	33	17	62	378	457

② 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		3点	10点	13点	27位	3点	10点	13点	23位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	13位	—	—	—	—
スキ－競技会		0点	10点	10点	22位	0点	10点	10点	16位
本大会		519点	370点	889点	25位	159.5点	330点	469.5点	32位
合 計		522点	400点	922点	26位	162.5点	350点	512.5点	37位



③ 入賞状況

(1) 冬季大会

●スケート競技 競技得点 3点 天皇杯 27位 皇后杯 23位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子	スピード 2000mR	7	2	安 田 彩 夏	福島県スケート連盟
				秋 山 光 希	安積第二小学校(教)
				木 田 綾 音	陸上自衛隊
	スピード 1500mR	8	1	清 水 凜	早稲田大学 4年
				清 水 凜	早稲田大学 4年

(2) 本大会

●陸上競技 競技得点 55点 天皇杯 13位 皇后杯 25位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
共 通 男 女 混 合	4×400mリレー	1	8	長谷川 桜 介	日大東北高等学校 3年
				小 野 莉 瑚	郡山東高等学校 3年
				金 森 瑛 瑛	仙台大学 4年
				松 本 奈 菜 子	東邦銀行 4年
成年男子	300m	2	7	金 森 瑛 瑛	仙台大学 4年
成年男子	400mハートル	2	7	山 内 大 夢	東邦銀行
成年女子	300m	1	8	松 本 奈 菜 子	東邦銀行
少年男子A	ハンマー投げ	8	1	田 中 航 聖	いわき湯本高等学校 2年
少年男子A	やり投	6	3	寺 島 翔 翔	相馬総合高等学校 3年
少年男子A	100m	6	3	鈴 木 我 空	日大東北高等学校 3年
少年男子B	砲丸投	4	5	杉 本 啓 世	磐城高等学校 1年
少年男子B	3000m	5	4	若 田 大 尚	学法石川高等学校 1年
少年男子	走高跳	7	2	尾 形 望 月	福島成蹊高等学校 3年
少年男子	800m	7	2	梅 原 俊 太	学法石川高等学校 3年
少年女子A	800m	8	1	棚 橋 樹 樹	会津学鳳高等学校 3年
少年女子A	3000m	5	4	湯 田 和 未	学法石川高等学校 3年

●ソフトテニス競技 競技得点 35点 天皇杯 7位 皇后杯 4位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子		2	35	小 川 木乃花	住友ゴム工業株式会社
				清 水 麻 美	住友ゴム工業株式会社
				高 濱 美 厘	住友ゴム工業株式会社
				近 藤 明日咲	住友ゴム工業株式会社
				小松崎 菜 代	住友ゴム工業株式会社



剣道競技



なぎなた競技



テニス競技



福島県代表として臨んだ滋賀国スポ

第79回国民スポーツ大会に福島県代表として出場し、全国の強豪選手と競い合う貴重な経験をさせていただきました。県の代表としてスタートラインに立つことは大きな責任を伴い、その重みを感じながらも、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを強く抱いて競技に臨みました。

大会を通して感じたのは、個人競技であっても決して一人では成り立たないということです。日頃から指導やサポートをしてくださる指導者の存在はもちろん、共に練習を重ね、互いに刺激を与えてきた仲間が存在が、競技中の大きな支えとなりました。また、

陸上競技(成年男子)
仙台大学 4年 金森 瑛

会場や地元からの応援、福島県の皆様の声援も大きな力となり、最後まで全力で競技に向き合う原動力となりました。

滋賀国スポで得た経験は、自身の競技力向上だけでなく、今後の競技生活を考えるうえで多くの学びを与えてくれました。この経験を次の競技活動へとつなげるとともに、福島県の陸上競技やスポーツ全体を盛り上げていく一助となれるよう、福島県を代表する選手として、さらなる成長を目指して努力を重ねていきたいと考えています。



第79回国民スポーツ大会までの歩み

滋賀国スポ大会では9年ぶりの準優勝でした。初優勝まであと一勝と、選手たちも応援も気合がはいり盛り上がりましたが、第一対戦からリードを許したため、気持ちが空回りして本来のプレーができなかったように感じました。追う展開の中で、後半に2ゲームを返しましたが、2対4での敗退。第二対戦のシングルスも競った内容でしたが、肝心なところでミスがでてしまい、ゲームを取り切れずに、1対4での敗退となり、ワタキュー選手単独チームの京都府に敗れて2位となりました。

シングルスは苦労の連続でしたが、ダブルス2ペアが頑張りました。3番に出場した小松崎・近藤ペアは全勝でチームを牽引してくれました。今回は10名体制で臨んだ大会でありましたが、サポートと応援の選手たちもしっかり役目をはたして頑張ってくれました。まさにチーム一丸となって戦えた大会でありました。もう一つ忘れてはならないのは、大会に臨むまでに

ソフトテニス競技(成年女子)
監督 大槻 三喜

強化試合、合宿等で多くの県代表チームや学生チームにお世話になって調整ができたことです。毎年恒例のお盆合宿では5日～7日間の開催で7～8県が白河に集まり、いろいろなことに挑戦したり修正したりと切磋琢磨してテニスができました。多くのチームが遠方より時間と費用をかけて白河に集まってくれることに感謝しかありません。おかげさまで東北総体8連覇をすることができました。

滋賀国スポの本戦でも、現地入りするまで関東の県代表チームや強豪大学と強化試合を行ったり、長浜では地元の滋賀県チームや他県のチームと3日間合宿を行ったりしました。滋賀県連盟はじめ、多くのチームに本当にお世話になり、支えられての大会でした。

青森国スポでは初優勝目指して頑張ってもらっているので、今後ともご支援とご声援の程、よろしく願っています。

●サッカー競技 競技得点 60点 天皇杯 5位 皇后杯 4位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	20	茂木 星也	尚志高等学校(職)
				草野 太貴	流通経済大学 4年
				半谷 一太	流通経済大学 4年
				布川 陽大	順天堂大学 3年
				西丸 由都	立正大学 1年
				高橋 響希	新潟医療福祉大学 1年
				荒川 竜之介	拓殖大学 1年
				矢崎 レイス	新潟医療福祉大学 1年
				坂林 来希	新潟医療福祉大学 2年
				坂下 健将	かがみいしスポーツクラブ
				吉満 迅	東洋大学 3年
				渡邊 優空	立正大学 2年
				高瀬 大也	東洋大学 2年
				鈴木 虎太郎	産業能率大学 3年
				角田 隆太郎	産業能率大学 2年
少年女子		4	40	本田 陸	順天堂大学 4年
				望木 智風	ふたば未来学園高等学校 2年
				岸上 詩音	ふたば未来学園高等学校 2年
				小野 輝愛	ふたば未来学園高等学校 1年
				佐々木 樹璃	ふたば未来学園高等学校 1年
				高橋 心花	ふたば未来学園高等学校 1年
				若月 りる葉	ふたば未来学園高等学校 1年
				渋谷 瑠南	尚志高等学校 1年
				古庄 梨桜	尚志高等学校 1年
				塩田 亜莉紗	尚志高等学校 1年
				渡辺 琉華	尚志高等学校 1年
				草野 理子	尚志高等学校 1年
				渡部 和奏	尚志高等学校 1年
				宇都木 柚芭	尚志高等学校 1年
				堀 楓華	尚志高等学校 1年
				木村 杏	尚志高等学校 1年



サッカー競技



ハンドボール競技



ローイング競技

●ハンドボール競技 競技得点 12.5点 天皇杯 13位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12.5	吉田 拓翔	東北福祉大学 3年
				武藤 瑞希	国士舘大学 4年
				鈴木 颯太	東海大学 2年
				富本 歩	筑波大学 2年
				矢作 暁	東海大学 2年
				後藤 栄輝	東海大学 1年
				櫻井 愛心	東北福祉大学 2年
				遠藤 岳	福島県ハンドボール協会
				小笠原 渉	鈴茂器工株式会社
				吉田 凌汰	上武大学 3年
				堀内 海生	早稲田大学 1年
				齋藤 拓実	社会福祉法人けやきの村



水泳競技

●ローイング競技 競技得点 2点 天皇杯 28位 皇后杯 25位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	シングルスカル	7	2	海老名 郁麻	喜多方高等学校 2年

●水泳競技 競技得点 31点 天皇杯 26位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	100mバタフライ	6	3	秋山 栞名	新潟医療福祉大学 4年
少年男子A	200m平泳ぎ	7	2	水戸 煌稀	日大東北高等学校 2年
少年男子A	400m個人メドレー	6	3	水戸 煌稀	日大東北高等学校 2年
少年男子B	400m自由形	5	4	國分 昭俊	日本大学東北高等学校 1年
少年女子A	200m平泳ぎ	4	5	武田 璃子	日大東北高等学校 3年
少年女子B	100m平泳ぎ	8	1	遠藤 舞羽	福島成蹊高等学校 1年
成年女子	飛板飛込	5	4	西沢 明歩	小野中学校(教)
成年女子	高飛込	6	3	西沢 明歩	小野中学校(教)
少年女子	飛板飛込	7	2	千葉 優奈	郡山第五中学校 3年
少年女子	高飛込	5	4	千葉 優奈	郡山第五中学校 3年



弓道競技

●弓道競技 競技得点 3点 天皇杯 29位 皇后杯 21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	遠的	8	3	天野 正祥	株式会社クレハ生産本部いわき事業所
				古川 航成	株式会社シンク
				山口 哲成	有限会社西内工務店

●自転車競技 競技得点 38点 天皇杯 11位 皇后杯 24位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
男子 A	ロードレース	3	6	風間 翔真	シマノレーシング
男子 A	ポイント・レース	5	4	風間 翔真	シマノレーシング
男子 A	1kmタイムトライアル	5	4	吉田 唯斗	明治大学 4年
男子 A	ケイリン	2	7	吉田 唯斗	明治大学 4年
男子 B	ポイント・レース	3	6	沢田 虹太郎	学法石川高等学校 3年
男子 B	ロードレース	6	3	沢田 虹太郎	学法石川高等学校 3年
男子 B	ロードレース	1	8	堀 太鳳	学法石川高等学校 3年

●バドミントン競技 競技得点 15点 天皇杯 13位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	7.5	増田 遥 宮下 翔伍 山城 政人	ふたば未来学園高等学校 2年 ふたば未来学園高等学校 2年 ふたば未来学園高等学校 2年
少年女子		5	7.5	畠山 想来 山北 莉緒 芳賀 凜歩	ふたば未来学園高等学校 2年 ふたば未来学園高等学校 2年 ふたば未来学園高等学校 1年

●ボクシング競技 競技得点 10.5点 天皇杯 19位 皇后杯 32位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ライトフライ級	5	2.5	大谷 葵	有限会社荘司商店
	ライト級	5	2.5	山崎 湊	拓殖大学 2年
	バンタム級	3	5.5	湯浅 和樹	駒澤大学 3年

●馬術競技 競技得点 13点 天皇杯 21位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	トップスコア	4	5	秋葉 大地	秋葉ステーブル
少年	リレー	3	6	西畑 康成 土田 若葉	相馬総合高等学校 3年 福島東稜高等学校 3年
	トップスコア	7	2	矢内 玖利歩	聖光学院高等学校 2年

●バレーボール競技 競技得点 21点 天皇杯 18位 皇后杯 10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	ビーチバレーボール	2	21	舟山 葵 高野 愛菜	聖光学院高等学校 3年 聖光学院高等学校 3年



バドミントン競技



ボクシング競技



馬術競技



福島県

日本一のチャレンジャー

私がビーチバレーと出会ったのは2024年の冬で、そこから始まったビーチバレーの物語は多くの方のおかげで大きな宝物となりました。福島県予選から始まり、東北総スポを初優勝という形で突破し滋賀県への切符を手にすることができました。滋賀県での国民スポーツ大会はビーチバレーの難しさ、楽しさなど魅力を改めて自分の肌で感じる事ができた大会でした。他県の代表は経験者が多く、自分たちは3年生でありながらも経験値は1番低いペアだったと思います。だからこそ「日本一のチャレンジャー」という気持ちを持って1戦1戦を戦いました。結果を

2人で誓った全力で楽しむプレー

ビーチバレーと出会えて心の底から良かったと思っています。本格的に競技に取り組み始めたのも、国民スポーツ大会への出場も今年が初めてでした。色々な大会に参加する度に、自分達よりも経験値も技術力も格上の相手に圧倒され、ペアとのコミュニケーションも上手いかず悩むこともありましたが、「このままじゃだめだ」と思い、この大会に出場するまでに、2人で決めた事がありました。それは「コミュニケーションを絶やさずに、チャレンジャーの気持ちで全力で楽しもう!お世話になった人に恩返しができる試合にしよう!」ということです。迎えた本番では、どの県代表よりも明るく良い雰囲気ですることができ、全力で楽しむことができ

バレーボール競技ビーチバレーボール(少年女子)
聖光学院高等学校 3年 舟山 葵

求めるのではなく、目の前の一球に全力で、そして何より楽しむことを忘れずにプレーしました。ビーチバレー独特の雰囲気の中でプレーをし、多くの方に応援して頂きました。指導して下さいました指導者の方々、県協会の方々、そして応援して下さいました皆さんには感謝しかありません。ビーチバレーを通して学んだスポーツの素晴らしさ、楽しむことの大切さ、そして感謝の気持ちを忘れずにこれからの人生も歩んでいきたいと思っています。

ビーチバレーをするにあたり関わって下さった皆様、本当にありがとうございました。

バレーボール競技ビーチバレーボール(少年女子)
聖光学院高等学校 3年 高野 愛菜

ました。改めて、結果だけに囚われず、自分達のプレーをする大切さを実感することができました。多くの人との出会いがあり、葵との2人の絆も深まりとてもいい経験をする事ができました。

こうしてチャレンジすることができたのは、指導をして下さった指導者の方々をはじめとする県協会の方々、チームメイト、応援して下さいました方々の支えがあったからです。心から感謝しています。

大学進学後もビーチバレーを続ける予定なので、この経験を糧に更なる高みを目指して精一杯頑張ります!



多くの方に支えられて掴んだ優勝

国民スポーツ大会のロードレースで優勝することができたことは、これまで積み重ねてきた努力が形になったように感じられ、大きな自信につながりました。レース当日は緊張しつつも体調が良く、スタート直後から周囲の動きを冷静に把握することができました。中盤の登りでは苦しさを覚えましたが、日々の練習を信じて踏み続け、先頭集団に残ることができました。勝負どころで仕掛けたアタックがうまく決まり、最後のスプリントでは全

自転車競技(男子Bロードレース)
学校法人石川高等学校 3年 堀 太鳳

身の力を振り絞りました。ゴールした瞬間には、支えてくれた仲間や家族、そして指導者の方々の顔が思い浮かび、胸が熱くなりました。

今回の優勝は決して自分だけの力ではなく、周囲の支えがあってこそ得られたものだと感じています。これからも慢心せず、より高いレベルを目指して成長を続け、全国の舞台で自信を持って戦える選手になりたいと考えています。

●ソフトボール競技 競技得点 100点 天皇杯 2位 皇后杯 15位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子		3	44	塩 沼 泰 成	三和小学校(教)
				本 田 拓 史	株式会社協和地質
				大 野 光 貴	大野工業
				佐 藤 輝 輝	本田技研工業株式会社
				松 本 智 樹	会津支援学校(教)
				後 藤 真 誓	株式会社不動テトラ
				安 部 竜 空	中京学院大学 4年
				松 本 舜 輔	七福整骨医院
				渡 邊 智 範	株式会社平成
				川 崎 裕 斗	株式会社ニノテック
少年男子		2	56	佐 久 間 亮 太	株式会社レウナ興業
				齋 藤 裕 人	丸磯建設株式会社
				大 森 隼 斗	郡山北工業高等学校 3年
				佐 藤 晟	郡山北工業高等学校 3年
				吉 田 湊二朗	郡山北工業高等学校 3年
				関 根 治 時	郡山北工業高等学校 3年
				川 崎 直 哉	郡山北工業高等学校 3年
				阿 部 義 智	郡山北工業高等学校 3年
				古 谷 創之介	郡山北工業高等学校 3年
				鈴 木 大	郡山北工業高等学校 2年
				三 浦 虎 徹	郡山北工業高等学校 2年
				近 藤 瑞 稀	郡山北工業高等学校 2年
				本 田 瀬 人	郡山北工業高等学校 2年
				高 橋 翼 太	郡山北工業高等学校 1年
				塩 澤 来 輝	須賀川創英館高等学校 3年



柔道競技



レスリング競技



フェンシング競技



空手道競技

●ウエイトリフティング競技 競技得点 61点 天皇杯 8位 皇后杯 4位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	81kg級C&J	3	6	宍 戸 大 輔	BLACK SHIPS
	89kg級スナッチ	1	8	浪 越 晴太郎	日本大学 3年
	89kg級C&J	3	6	浪 越 晴太郎	日本大学 3年
	96kg級スナッチ	7	2	山 川 良 太	株式会社久工業所
女 子	59kg級スナッチ	1	8	遠 藤 梨 李	いちご株式会社
	59kg級C&J	1	8	遠 藤 梨 李	いちご株式会社
少年男子	89kg級スナッチ	5	4	吉 田 丈一郎	勿来工業高等学校 2年
	89kg級C&J	6	3	吉 田 丈一郎	勿来工業高等学校 2年
	+102kg級スナッチ	1	8	鈴 木 優 人	田村高等学校 3年
	+102kg級C&J	1	8	鈴 木 優 人	田村高等学校 3年



～ 30年ぶりの大躍進～

今回、滋賀県で開催された「第79回国民スポーツ大会ソフトボール競技 少年男子の部」に福島県代表として参加させていただきました。

私自身国スポは今回で3回目となり、高校1年生から参加しています。今年は福島県選手団の代表として旗手に選んでいただきました。テレビで見ていた総合開会式に参加し福島県選手団の先頭を歩くことができる貴重な体験でした。観客の人数や声援・吹奏楽による演奏などすべてにおいて圧倒され鳥肌が立ち一生の思い出となりました。

今回の国スポの大会では初戦から苦しい接戦の試合ばかりで実力から考え上位進出は難しいと思っていましたが、投打がかみ合い準決勝ではインターハ

ソフトボール競技[少年男子]
福島県立郡山北工業高等学校 3年 大森 隼斗

イ2位の愛媛県に勝ち30年ぶりの決勝戦に進出しました。

決勝戦では、インターハイ優勝の長崎県と対戦し、残念ながら0対4で負けてしまいましたが、ここまで誰も予想していなかった結果を出すことができ、福島県に少しでも貢献できたことは大変嬉しく思います。

日頃から私たちを支え応援してくださった保護者や福島県の関係者の皆様に感謝しております。今後はこの成績に恥じないよう日々の言動に気をつけながら、将来福島県成年男子の代表としてプレーできるよう頑張っていきたいと思っています。



国民スポーツ大会で掴んだ優勝

第79回国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技会は滋賀県安曇川市で開催されました。本大会は全国から多くの選手が集まり、各県の代表として誇りを持って競い合う緊張感のある舞台でした。私は「全国二冠達成」と「今日は全て出し切ってる」という目標を持って大会へ挑みました。試合が始まると選手一人ひとりの真剣な表情から大会の重みを強く感じながら、一本一本に気持ちを込めながら試技を行いました。その結果スナッチでは大会新記録、ク

ウエイトリフティング競技[少年男子102kg超級]
福島県立田村高等学校 3年 鈴木 優人

リーン&ジャークでは自己ベストを出すことができ、トータルも大会新記録で優勝することができました。表彰台に立った瞬間、これまで積み重ねてきた努力が報われたと実感しました。国民スポーツ大会という大きな舞台で優勝できた経験は、私に大きな自信と新たな目標を与えてくれました。今後も応援してくれた人たちに感謝しながら挑戦を続け、さらに高いレベルを目指して努力していきたいです。

●**体操競技** 競技得点 1点 天皇杯 27位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
男子	トランポリン	8	1	田代 広樹	相馬看護専門学校 2年

●**レスリング競技** 競技得点 13点 天皇杯 34位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フリースタイル65kg級	3	5.5	梶 流斗	クリナップ株式会社
	フリースタイル74kg級	5	2.5	青 柳 善の輔	クリナップ株式会社
少年男子	フリースタイル51kg級	5	2.5	稲 葉 広人	ふたば未来学園高等学校 1年
	フリースタイル80kg級	5	2.5	福王子 矩 郁	喜多方桐桜高等学校 3年

●**スポーツクライミング競技** 競技得点 6点 天皇杯 23位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ボルダー	7	6	佐々木 玲偉	福島成蹊高等学校 3年
				佐々木 泰地	福島明成高等学校 1年

●**セーリング競技** 競技得点 1点 天皇杯 25位 皇后杯 23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	ILCA 6級	8	1	高 橋 香	小名浜海星高等学校(教)

●**カヌー競技** 競技得点 41点 天皇杯 13位 皇后杯 29位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	SP K-1 500m	5	4	青 木 瑞 樹	自衛隊体育学校
	SP K-1 200m	5	4	青 木 瑞 樹	自衛隊体育学校
	SP K-1 500m	1	8	安 齋 勇 真	安達高等学校 3年
少年男子	SP K-2 500m	2	7	青 木 悠 生	安達高等学校 3年
	SP K-2 500m	2	7	島 村 金太郎	安達高等学校 2年
				青 木 聡 生	安達高等学校 3年
	SP C-2 500m	5	4	丹 野 颯	二本松実業高等学校 3年
	SP K-1 200m	5	4	安 齋 勇 真	安達高等学校 3年
	SP K-2 200m	7	2	青 木 悠 生	安達高等学校 3年
				島 村 金太郎	安達高等学校 2年
	SP C-2 200m	5	4	青 木 聡 生	安達高等学校 3年
成年女子	SL C-1 25G	7	2	押 山 智 音	福島明成高等学校 1年
	SL C-1 15G	7	2	押 山 智 音	福島明成高等学校 1年



体操競技



スポーツクライミング競技



セーリング競技



高校生活最後の大会

私は第79回国民スポーツ大会カヌースプリント競技で、少年男子カヤックシングルの500mと200mに出場しました。高校最後の大会となった今回、500mでは優勝し、200mでは5位という結果を収めることができました。500mで1位をとれたことは、これまで努力してきた練習の成果を実感できた大きな瞬間であり、自信へとつながりました。

一方、200mでは、スタートの出遅れや加速の弱さなど、自分に不足している点がはっきりと見えました。特に、瞬発力を高めるための基礎となる体づくりがまだ不十分であると痛感しました。今後はこの

カヌー競技〔少年男子スプリント・カヤックシングル〕
福島県立安達高等学校 3年 安齋 勇真

課題を乗り越えるため、より高い強度のトレーニングや筋力強化に取り組み、短距離でも勝負できる身体をつくっていききたいと考えています。

大会を通して、多くの気づきや学びがありました。結果だけでなく、日々の練習を支えてくれた仲間や家族、指導者の存在の大きさを改めて感じることもでき、価値のある経験となりました。私は大学に進学してからもカヌーを続け、さらに高みを目指していきます。今回の大会で得た手応えと見つかった課題を次の成長につなげ、より良いパフォーマンスが発揮できるよう努力を重ねていきたいと思っています。



自分らしく

私は、滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会に出場させていただきました。結果は、59kg級でスナッチ95kg 1位、クリーン&ジャーク113kg 1位、トータル208kg 1位でした。今回で5回目の出場になりましたが、目標としていた初優勝、大会自己ベスト更新を達成することができ、自信に繋がる試合になりました。

2024年は、怪我や上手くいかないことが多くあり、迷いや自分らしさを見失うことがありました。2025年は、この反省を活かして自分自身を見つめ直し、前向きに少しずつ課題をクリアしていくことに専念してきました。

ウェイトリフティング競技〔女子59kg級〕
遠藤 梨李

試合では、今まで積み重ねてきたもの信じ、自分らしく楽しみながら試技することができました。また、お世話になった方々や応援してくださる皆さまに成長した姿を見せたいという気持ちもあり、前向きに挑戦することができました。福島県代表として、皆さまのご声援や期待を背負って大会に臨めたことは、とても嬉しく、心から感謝しています。

今後は、ロサンゼルスオリンピックを目指し、応援してくださる皆さまのご声援を力に変え、沢山のことにチャレンジし目標を叶えられるように頑張ります。これからも温かい応援をよろしくお願いいたします。



フィギュアスケート アイスホッケー 競技会場

FLAT HACHINOHE

第80回国民スポーツ大会冬季大会成績

① 参加状況

区 分		会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
大 会						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R8.2/4(水) ～2/8(日)	青 森 県 八 戸 市	佐藤 英壽	2	8	3	26	37
	ス キ ー 競 技 会	R8.2/14(土) ～2/17(火)	青 森 県 大 鰯 町	阿部 和博	1	6	3	33	42

② 競技成績

区 分		天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
ス ケ ー ト 競 技 会		0点	10点	10点	31位	0点	10点	10点	26位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	—	—	—	—
ス キ ー 競 技 会		0点	10点	10点	25位	0点	10点	10点	19位
合 計		0点	30点	30点	35位	0点	20点	20点	29位



集まれ!!未来のアスリート



公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業

ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみよう」という小・中学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

体験プログラム

令和7年度体験プログラムは、19競技22種目全40回を企画し、内35回のプログラムを実施しました。県内の小・中学生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

No.	日 程	種 目	主 催 団 体	会 場
1	6月 1日(日)	カヌー(スラローム)	福島県カヌー協会	二本松市
2	6月 8日(日)	相撲①	福島県相撲連盟	郡山市
3	6月28日(土)	ボクシング①	福島県ボクシング連盟	会津若松市
4	6月28日(土)	フェンシング①	福島県フェンシング協会	川俣町
5	7月 5日(土)	ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会	三春町
6	7月26日(土)	ハンドボール	福島県ハンドボール協会	いわき市
7	7月26日(土)	ボウリング①	福島県ボウリング連盟	いわき市
8	7月26日(土)	ボウリング②	福島県ボウリング連盟	会津若松市
9	8月 2日(土)	スポーツクライミング①	福島県山岳・スポーツクライミング連盟	郡山市
10	8月 2日(土)	スポーツクライミング②	福島県山岳・スポーツクライミング連盟	郡山市
11	8月 2日(土)	スポーツクライミング③	福島県山岳・スポーツクライミング連盟	郡山市
12	8月 9日(土)	ボウリング③	福島県ボウリング連盟	福島市
13	8月11日(月)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	相馬市
14	8月23日(土)	ライフル射撃①	福島県ライフル射撃協会	二本松市
15	8月24日(日)	トランポリン①	福島県体操協会	福島市
16	8月24日(日)	トランポリン②	福島県体操協会	福島市
17	8月24日(日)	トランポリン③	福島県体操協会	福島市
18	8月30日(土)	新体操・女子①	福島県体操協会	いわき市
19	8月30日(土)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会	福島市
20	9月 6日(土)	カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会	二本松市
21	10月 4日(土)	器械体操①	福島県体操協会	須賀川市
22	10月11日(土)	ライフル射撃②	福島県ライフル射撃協会	二本松市
23	10月13日(月)	器械体操②	福島県体操協会	いわき市
24	10月18日(土)	新体操・女子②	福島県体操協会	郡山市
25	10月18日(土)	レスリング②	福島県レスリング協会	いわき市
26	10月18日(土)	レスリング③	福島県レスリング協会	喜多方市
27	10月25日(土)	銃剣道	福島県銃剣道連盟	福島市
28	10月26日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	郡山市
29	11月 1日(土)	ソフトテニス	福島県ソフトテニス連盟	本宮市
30	11月 3日(月)	フェンシング②	福島県フェンシング協会	川俣町
31	11月 3日(月)	スポーツクライミング④	福島県山岳・スポーツクライミング連盟	二本松市
32	11月 3日(月)	スポーツクライミング⑤	福島県山岳・スポーツクライミング連盟	二本松市
33	11月 8日(土)	スケート①	福島県スケート連盟	郡山市
34	11月16日(日)	相撲②	福島県相撲連盟	郡山市
35	11月22日(土)	スケート②	福島県スケート連盟	郡山市
36	6月15日(日)	ラグビーフットボール	福島県ラグビーフットボール協会	いわき市
37	8月 2日(土)	セーリング①	福島県セーリング連盟	いわき市
38	8月 3日(日)	セーリング②	福島県セーリング連盟	いわき市
39	9月20日(土)	ボクシング②	福島県ボクシング連盟	いわき市
40	10月18日(土)	レスリング①	福島県レスリング協会	南会津町



アイスホッケー



カヌースプリント



ソフトテニス



トランポリン



フェンシング



相 撲



レスリング



器械体操

※No.36～40は悪天候等の理由により中止

「ふくしまスポーツキッズ」公式 Instagramがスタート!



「もっといろんなスポーツに挑戦してみたい!」そんなキッズや保護者の皆さんの声に
 応えるため、福島県スポーツ協会は『ふくしまスポーツキッズ』公式 Instagram を開設しました。
 スポーツが好きな子どもたちとスポーツ振興に関わる方々のつながる場を目指しております。
 ぜひ『いいね』&『フォロー』をお願いします。



スポーツふくしま ビルドアッププロジェクト

ふくしまシャイニングスタープロジェクト

将来、全国大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対し、オリンピック選手輩出実績のある競技の実践等を
 通じて未来のトップアスリートを育成することを目的とし、「ウエイトリフティング競技」と「自転車競技」の2
 競技で実施されました。

ウエイトリフティング 競技

令和7年9月と10月に福島県立田村高校を会場として選考会が実施されました。その
 結果、5名が選考され、11月から1月にかけて競技体験を行い、1月には今年度から開始
 となった福島県ウエイトリフティング選手権大会に参加しました。参加者は競技を間近で
 見学したり、トレーニングで汗を流したりしながら、競技の魅力を存分に味わいました。
 ふくしまの「シャイニングスター」たちの活躍が楽しみです。



自転車競技

令和7年12月13日(土)に福島県立白河実業高校第一体育館を会場として開催されま
 した。8名の中学生が参加し、体力測定や自転車の操作技術等の発掘テストを行いまし
 た。福島県自転車競技連盟は、これまで国内外で活躍する多くの選手を輩出しており
 ます。今回参加した中学生も、高校生になってから本格的に自転車競技を始めたいとい
 う強い意志があり、今後の活躍が非常に楽しみです。



ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高等学校ゴルフ出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成講習会」を実施しました。



高等学校ゴルフ出前講座



高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施して、ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組みました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習などを通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学ぶこともできました。

令和7年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校、福島県立川口高等学校

スナッグゴルフ教室



子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

令和7年度実施団体：棚倉町立高野小学校、郡山ザベリオ学園小学校、西郷村立川谷小学校、特定非営利活動法人いわきクラブ（あたご明星・暁児童クラブ）、棚倉町放課後児童クラブ（棚倉児童クラブ、社川児童クラブ、近津児童クラブ）、本宮市放課後子ども教室（遊友クラブ）、郡山市立桑野地域公民館、本宮市青田公民館（長寿大学）、特定非営利活動法人生涯学習プロジェクトもとみや（もとみやスポーツネットワーク）



ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和7年度は、県南管内の小学生、中学生15名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。

指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブなどを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図ってまいります。令和7年度は、福島県南高等学校教育研究会保健体育部会・保健体育科教員を対象に実施をしました。





競

技

団

体

紹

介



オリエンテーリング

福島県オリエンテーリング協会

福島県オリエンテーリング協会は、昭和50年に発足し、県内大会や学校行事等の開催を通して、オリエンテーリング競技の普及や競技力の向上を図っています。

オリエンテーリングは、地図とコンパスを使い、山野の各所に設定されたいくつかの地点(コントロール)を通過してゴールに着くまでの「速さ」を競うスポーツで、年齢や能力に応じたクラス分けが競技規則で定められているほか、東京2025デフリンピックでは、オリエンテーリングが競技種目となるなど、老若男女、障がいの有無に関係なく参加できる生涯スポーツです。

大正8年にスウェーデンで現在の形式での競技会が開催され、昭和41年に日本に伝わりましたが、「徒歩ラリー大会」として開催されたこともあり、レクリエーションスポーツとしても発展しました。

このため、当協会では、競技スポーツとレクリエーションスポーツの両面から普及活動を行っており、これらを反映した大会である「オリエンテーリングあだたら高原大会」を毎年6月初旬に開催しているほか、「福島県総合スポーツ大会」など4つの大会を年間行事として開催しています。

このほか、小中学生を対象とした大会の開催や、類似競技であるロゲイニング大会の協力などを行っています。

今後とも、これらの活動を積極的に行うことにより、オリエンテーリングの更なる普及・振興に努めていきたいと思ひます。



パワーリフティング

福島県パワーリフティング協会

福島県パワーリフティング協会は、昭和59年4月1日に発足し、パワーリフティング競技の普及及び振興を図り、もって県民の体力の向上と心身の健全な発達に寄与することを目的として大会の企画・運営をしています。

パワーリフティング競技は、人間の基本的運動要素「立つ、押す、引く」をスクワット(脚力)・ベンチプレス(腕力)・デッドリフト(背筋力)という3つの競技種目に分け、人間の力の極限を競うようにしたスポーツです。

力強さと逞しさを追求することは、人間の本能のなかでも最も強い欲求の一つであり、おそらくそれは人類が誕生したときから備えていたものに違いありません。その力強さを培うために、これまでさまざまな体力トレーニング、特に筋力トレーニング方法が考案されてきました。そして、その成果を試す手段として各種の重量挙上競技が考案され、ウェイトトレーニングの基本種目を競技化したパワーリフティング競技が誕生しました。パワーリフティング競技が今日に繋がる形で実施されたのは、1956(昭和31)年、アメリカのペンシルベニアで実施されたAAU主催第1回全米パワーリフティング・コンテストが最初といわれ、国内では1965(昭和40)年5月に実施された第1回関東学生パワー・コンテストが最初の大会です。また、1972(昭和47)年4月、日本パワーリフティング協会(JPA)が創設されると、日本で初めて正式なパワーリフティング競技が行われました。その後、1974(昭和49)年、JPAは、国際パワーリフティング連盟(IPF)に加盟して世界選手権大会に初参加し、さらに、1994年(平成6)年、(財)日本体育協会に正式加盟、1999年(平成11年)に社団法人として設立が許可され、また、2013年(平成25年)に公益社団法人日本パワーリフティング協会として認可され、名実ともに近代スポーツ競技として公認され、現在に至っています。2014年長崎国体でのデモスポ競技を経て2015年和歌山国体より公開競技となっています。2025年本協会選手の主な成績として、坂本優希選手の「全日本パワーリフティング選手権大会」第29回クラシック部門」女子47kg級 第3位」や乾初美選手の「アジアマスターズクラシックパワーリフティング選手権大会女子47kg級マスターズI(カレンダーイヤー40歳～49歳)優勝」などが挙げられます。

5年、10年前に比較し、会員数は年々増加しておりますが、今後更なる普及・振興に努めていきたいと思ひます。



●2025年本協会選手の主な成績

●坂本 優希 選手

全日本パワーリフティング選手権大会
「第29回クラシック部門」
女子47kg級 第3位

●乾 準一 選手

全日本パワーリフティング選手権大会
「第30回マスターズクラシック部門」
男子93kg級マスターズII(50歳～59歳)優勝
種目別日本記録樹立

●乾 初美 選手

アジアマスターズクラシック
パワーリフティング選手権大会
女子47kg級マスターズI
(カレンダーイヤー40歳～49歳)優勝

硬式野球

JABA福島県野球協会

JABA福島県野球協会は、昭和22年に福島県内の社会人野球(硬式・軟式)の運営・管理を目的に「福島県野球連盟」として発足しました。平成8年に硬式野球部門を分離し「福島県野球協会」として独立、平成29年には公益財団法人日本野球連盟(通称JABA)の所属団体であることを明確とするため「JABA福島県野球協会」と改名し、県内の社会人硬式野球チーム及び役員・選手の登録管理から各大会の企画運営を行っております。

社会人野球は、「企業チーム」と「クラブチーム」のふたつに大別されますが、現在、当協会に所属する14チームは全て学校OBや有志で構成するクラブチームとなっています。

近年は、全日本クラブ野球選手権において当県チームが優勝争いを繰り広げる等、全国でも屈指の強豪県と言われる様になっており、今後はアマチュア野球の最高峰とされる都市対抗野球でも活躍が期待される所です。

少子化や若者の県外流出等により、社会人野球を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、メジャーリーグにおける日本人選手の活躍や、東京2020オリンピック野球競技が福島県営あづま球場で開催されたことを契機に、県内においても国民的スポーツである野球に再び注目が集まっております。

今後は、県内の子供達を対象に野球教室やTボール教室を開催し、競技人口の拡大に向けた活動により、野球競技の更なる普及・振興に努めていきたいと思ひます。



令和7年度 公益財団法人福島県スポーツ協会 表彰式



名誉会長あいさつ
(内堀雅雄 福島県知事)



開式あいさつ
(北村清士会長)

令和7年度公益財団法人福島県スポーツ協会表彰式は、令和7年12月24日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンポリウムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、北村清士会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された佐々木真菜選手(陸上競技)より謝辞がありました。表彰式後には、受賞者と名誉会長・会長との記念写真撮影を行いました。今年度の受賞者は下記のとおりです。(敬称省略) ※所属は現在のものを記載しています。

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 熊坂 雄延(福島県ソフトテニス連盟)
- 須藤 盛夫(福島県ライフル射撃協会)
- 渡辺 善文((一社)福島県バスケットボール協会)
- 千葉 梅子(福島県バドミントン協会)
- 横倉 英子(福島県なぎなた連盟)
- 垣内 泰(福島県ボウリング連盟)
- 加藤 一郎(福島県オリエンテーリング協会)
- 松本 壹雄(J A B A 福島県野球協会)
- 柏谷 潔(東北地域連合)
- 伊藤 平男(県中地域連合)
- 渋谷 容寿(相双地域連合会)
- 栗田 要(相双地域連合会)



スポーツ功労賞
横倉 英子氏

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

陸上競技

- 松本奈菜子((株)東邦銀行)
- 井戸アビゲイル風果((株)東邦銀行)
- 山内 大夢((株)東邦銀行)
- 金森 瑛(仙台大学)
- 山口 智規(早稲田大学)
- 成田 朱里(青山学院大学)
- 栗村 凌(学校法人石川高校)
- 長谷川桜介(日本大学東北高校)
- 増子 陽太(学校法人石川高校)
- 寺島 翔(県立相馬総合高校)

ソフトテニス

- 清水 麻美(住友ゴム工業(株)白河工場)
- 小川木乃花(住友ゴム工業(株)白河工場)
- 大武 夢菜(須賀川市立西袋中学校)
- 大武 姫菜(須賀川市立西袋中学校)
- 吉田 唯杏(西郷村立西郷第一中学校)
- 渡辺 優実(テニ研ジュニア)
- 松本 倫佳(相馬S Tジュニア)

テニス

- 波多野洋子(あさかファミリー)
- 志賀亜希奈(亜細亜大学)

卓球

- 田崎 朝子(会津クラブ)
- 伊藤 昌夫(T I S S)
- 斎藤恵美子(T I S S)
- 小野 令子(いわき卓球)
- 橋本 卓央(いわき卓球)
- 渡邊 沙織(福卓会)
- 伊東みらい(芦屋大学)

剣道

- 吉川 鉄平(福島市立清水中学校)

ローイング

- 小柴健太郎(富山国際大学)
- 大竹 美結(中央大学)
- 伊藤 詩野(中央大学)

水泳

- 寺田 拓未(ミツウロコ)
- 秋山 菜名(新潟医療福祉大学)
- 西沢 明歩(東北福祉大学)
- 武田 璃子(日本大学東北高校)
- 遠藤 舞羽(福島成蹊高校)
- 千葉 優奈(郡山市立郡山第五中学校)
- 伊藤 匠洋(須賀川市立第二小学校)
- 遠藤 悠悟(会津若松市立第四中学校)

自転車競技

- 窪木 一茂(愛三工業レーシングチーム/JPCU福島)
- 風間 翔翼(シマノレーシング)
- 吉田 唯斗(明治大学)
- 菅野 蒼羅(日本大学)
- 大関 奏音(日本体育大学)
- 成田 光志(学校法人石川高校)
- 堀 太鳳(学校法人石川高校)
- 沢田虹太郎(学校法人石川高校)

バドミントン

- 吉田 邦男(若羽会)
- 大島 浩一(上酒林)
- 齋藤 雅子(ワンポイント郡山)
- 高橋 清(二本松クラブ)
- 吉田 隼子(いわきレディース)
- 佐久間文子(双葉クラブ)
- 稲村 美幸(B C . Grand Cru)
- 柏原 明子(B C . Grand Cru)
- 吉田 尚子(B C . Grand Cru)
- 本田 祐子(B C . Grand Cru)
- 西山 弥生(F R E E D O M)
- 櫻下 裕子(B C . Grand Cru)
- 川野 寿真(県立ふたば未来学園高校)
- 政人(県立ふたば未来学園高校)
- 山城 優寿(県立ふたば未来学園高校)
- 伴野 碧唯(県立ふたば未来学園高校)
- 宮下 翔伍(県立ふたば未来学園高校)
- 増田 遥(県立ふたば未来学園高校)
- 大石 夢陽(県立ふたば未来学園高校)
- 寺島 拓夢(県立ふたば未来学園高校)
- 畠山 想来(県立ふたば未来学園高校)
- 山北 莉緒(県立ふたば未来学園高校)
- 串間 太政(県立ふたば未来学園中学校)
- 高畠 央侑(県立ふたば未来学園中学校)
- 小川 真輝(県立ふたば未来学園中学校)
- 西村 采人(県立ふたば未来学園中学校)
- 平嶋 天嘉(県立ふたば未来学園中学校)

ボクシング

- 湯浅 和樹(駒澤大学)
- 郡司みらい(会津若松市立東山小学校)

体操

- 松本 琉生(東日本国際大学附属昌平高校)

スキー

- 菅野 柊伍(チームリストル)

ソフトボール

- 齋藤 ゆず(山レディーズS B C)

ウエイトリフティング

- 今野 金哉(県警クラブ)
- 清野 裕司(県立福島明成高校)
- 高野 滋(福島県ウエイトリフティング協会)
- 大内 俊幸(マルナカ(株))
- 小湊 和輝(江信特殊硝子(株))
- 穴戸 大輔(B L A C K S H I P S)
- 遠藤 梨李(いちご(株))
- 遠藤 朱李(県立石川支援学校)
- 齋藤 太陽(日本大学)
- 本間 愛梨(平成国際大学)
- 浪越晴太郎(日本大学)
- 佐藤 楓花(平成国際大学)
- 鈴木 優人(県立田村高校)
- 渡邊 悠楽(県立福島明成高校)

レスリング

- 青柳善の輔(クリナップ(株))
- 榊 流斗(クリナップ(株))
- 筒井 双(県立ふたば未来学園高校)
- 阿久津こはる(県立ふたば未来学園高校)
- 湯田 鈴(県立ふたば未来学園高校)
- 保坂 樹奈(県立ふたば未来学園高校)
- 牧野 心咲(県立ふたば未来学園中学校)

スポーツクライミング

- 佐々木玲偉(福島県フリークライミング協会)

銃剣道

- 山口あや子(陸上自衛隊第6 高射特科大隊)
- 軽部久美子(第315基地通信中隊郡山派遣隊)

空手道

- 菅野 美桜(福島市立福島第四中学校)

なぎなた

- 齋藤 侃駿(県立会津津風高校)

ボウリング

- 遠藤 邦夫(インテリアエンドー)
- 中田 明(福島県ボウリング連盟)
- 垣内 泰(菅野建設(株))
- 伊藤 丈(株)東北装美
- 影山明日美((有)キョウワ冷熱工業)
- 鈴木 英子(福島県ボウリング連盟)

カヌー

- 小山田香貴(立命館大学)
- 青木 瑞樹(自衛隊体育学校)
- 青木 聡生(県立安達高校)
- 青木 悠生(県立安達高校)
- 安齋 勇真(県立安達高校)
- 丹野 颯(県立二本松実業高校)
- 安斎 煌生(県立安達高校)
- 島村金太郎(県立安達高校)
- 斎藤 俊輔(県立安達高校)
- 島村咲之進(二本松市立東和小学校)

パワーリフティング

- 乾 準一(福島県パワーリフティング協会)
- 乾 初美(F . B . G y m)
- 坂本 優希(福島県パワーリフティング協会)

トライアスロン

- 菅家 成美(東京家政大学)

スポーツチャンバラ

- 佐藤 慈貴(郡山市立高瀬中学校)
- 横田 淳(郡山市立郡山第二中学校)
- 岩間琥太郎(郡山市立大島小学校)
- 遠藤 叶緯(郡山市立金透小学校)
- 佐藤 愛珠(郡山市立高瀬小学校)
- 佐藤愛乃音(郡山市立高瀬小学校)

(公財) 福島県障がい者スポーツ協会

- 佐々木真菜((株)東邦銀行)
- 遠藤 裕美(福島県ボッチャ協会)
- 半谷 静香(トヨタグループ(株))

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 第73回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 男女総合 東邦銀行
- 第73回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行
- 第79回国民スポーツ大会 成年少年男女混合 4×400mR 福島県
- 第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 福島県
- 令和7年度全国中学校体育大会 陸上競技 女子4×100mR 会津A C

ソフトテニス

- 第79回国民スポーツ大会 ソフトテニス競技 成年女子 福島県
- 第69回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 ダンロップ
- 第36回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 女子 福島県
- 第36回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 男子 福島県
- 第42回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 福島県

サッカー

- 第7回日本クラブユース女子サッカー大会(U-18) J F Aアカデミー福島
- 令和7年度全国高等学校総合体育大会 サッカー競技 男子 尚志高校
- 第79回国民スポーツ大会 サッカー競技 少年女子 福島県

卓球

- 第44回全日本クラブ卓球選手権大会 女子30歳以上の部 福卓会

自転車競技

- 令和7年度全国高等学校総合体育大会自転車競技 男子4kmチームパーシュート 学校法人石川高校

バドミントン

- 令和6年度第25回全国社会人クラブ対抗選手権大会 earth
- 令和7年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 学校対抗男子 県立ふたば未来学園高校

- 令和7年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 学校対抗女子 県立ふたば未来学園高校
- 令和6年度第53回全国高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗男子 県立ふたば未来学園高校
- 令和6年度第53回全国高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗女子 県立ふたば未来学園高校
- 令和7年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体 県立ふたば未来学園中学校
- 令和7年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体 県立ふたば未来学園中学校
- 第25回全日本中学生バドミントン選手権大会 都道府県対抗団体戦 福島県

体操

- 全日本ジュニア新体操選手権大会 華舞翔新体操倶楽部

馬術

- 第79回国民スポーツ大会 馬術競技 少年リレー 福島県

ソフトボール

- 第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技 成年男子 福島県
- 第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技 少年男子 福島県

バレーボール

- 第79回国民スポーツ大会 バレーボール競技 ビーチバレーボール種目 少年女子 福島県

ウエイトリフティング

- 第61回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 団体 (株)久工業所

フェンシング

- 第11回全国中学生フェンシング選手権大会 川俣中学校

銃剣道

- 第24回全日本短剣道大会 団体戦 女子の部 郡山A
- 第56回全日本青年銃剣道大会青年第2部 第44普通科連隊A

福島県高等学校体育連盟

- 令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会 バスケットボール競技 男子 県立郡山萌世高校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- | | |
|--------|---------------------|
| 陸上競技 | ●吉田真希子 (株)東邦銀行 |
| 陸上競技 | ●岡本 拓矢 県立いわき湯南高校 |
| 陸上競技 | ●佐藤 修一 県立湖南高校 |
| 陸上競技 | ●高橋 聡 会津A C |
| ソフトテニス | ●大槻 三喜 住友ゴム工業(株) |
| ソフトテニス | ●高橋 優太 須賀川市立第二中学校 |
| ソフトテニス | ●阿保 庄衛 いわき市立江名中学校 |
| ソフトテニス | ●佐藤 光一 二本松市役所 |
| サッカー | ●見汐 翔太 J F Aアカデミー福島 |
| サッカー | ●仲村 浩二 尚志高校 |
| サッカー | ●五十嵐香月 県立ふたば未来学園高校 |
| 卓球 | ●原 晃 福卓会 |
| 自転車競技 | ●根本 雄真 学校法人石川高校 |
| バドミントン | ●齋藤 亘 県立ふたば未来学園中学校 |
| バドミントン | ●本多 裕樹 県立ふたば未来学園高校 |

- | | |
|----------|----------------------|
| バドミントン | ●今野 菜摘 県立ふたば未来学園高校 |
| 体操 | ●山田 智史 華舞翔新体操倶楽部 |
| 馬術 | ●大瀧 康正 大瀧馬事苑 |
| ソフトボール | ●二瓶美恵子 須賀川信用金庫本部 |
| ソフトボール | ●大森 史仁 県立郡山北工業高校 |
| バレーボール | ●紺野 真幹 (有)廣瀬製作所 |
| レスリング | ●砂川 航祐 県立ふたば未来学園高校 |
| フェンシング | ●今野 勝 川俣ホーム |
| 銃剣道 | ●肥塚 克典 自衛隊福島地方協力本部 |
| 銃剣道 | ●武田 正彦 陸上自衛隊第44普通科連隊 |
| カヌー | ●柳沼 恵子 県立安達高校 |
| バスケットボール | ●岩田 徹 県立郡山萌世高校 |
| 柔道 | ●鈴木 繁生 学校法人昌平塾 |
| ボッチャ | ●村上 光輝 福島県ボッチャ協会 |

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 福島水球クラブ

- 会津美里町スキークラブ

特別賞 国民スポーツ大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人およびその指導者

- | | |
|--------|----------------------------|
| 陸上競技 | ●松本奈菜子 (株)東邦銀行 |
| 陸上競技 | ●井戸アビゲイル風果 (株)東邦銀行 |
| 自転車競技 | ●窪木 一茂 愛三工業レーシングチーム/JPCU福島 |
| ソフトボール | ●齋藤 ゆず 郡山レディースS B C |

- | | |
|-------|-------------------|
| レスリング | ●青柳善の輔 クリナップ(株) |
| 陸上競技 | ●佐々木真菜 (株)東邦銀行 |
| ボッチャ | ●遠藤 裕美 福島県ボッチャ協会 |
| 柔道 | ●半谷 静香 トヨタグループ(株) |



謝辞
佐々木真菜選手



特別賞
齋藤 ゆず 選手



特別賞
佐々木 真菜 選手



優秀選手賞(個人)
安齋 勇真 選手



優秀選手賞(団体)
ソフトボール 福島県
(代表 大森 卓斗 選手)



優秀指導者賞
柳沼 恵子 氏



社会体育優良団体賞
福島水球クラブ
(代表 福士 寛樹 氏)

親

子

体操教室・指導者実技講習会

in 福島市

親子でいっしょに
楽しもう！

親子体操教室



令和7年9月23日(火・祝)に、体操のお兄さんとしておなじみの佐藤弘道氏を講師にお迎えし、福島市にある福島学院大学宮代キャンパス体育館において、「親子体操教室&指導者実技講習会」を開催しました。

親子体操教室は平成19年度に南相馬市からスタートし、19年目となった今年は、95組282名の親子が参加しました。参加者からは、「子どもの新たな一面が見られました。」「親子で笑顔いっぱいの幸せな時間を過ごすことができました。」「これからは親子一緒に触れ合いながら遊ぶことを大切にしていきたいと思います。」「といった声が寄せられました。

参加された親子の皆様には、ぜひご家庭でも親子体操を実践し、家族のふれあいや健康づくりに役立てていただければ幸いです。



指導者実技講習会

元気に楽しく体を動かして
子どもの基礎体力作りを学ぼう！

午後の部の指導者養成講習会は、今年で10年目。幼児教育に携わる指導者や学生80名が参加しました。講義では、いつまでも元気に動ける体づくりの重要性について学び、その後、音楽を活用した運動遊びを受講者全員で楽しく体験しながら学ぶことができました。



スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や競技者のけが・病気に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的にしています。依頼により、相談員・講師を派遣します。

相談員・講師

- 本協会スポーツ医・科学委員
- スポーツドクター部会員
- アスレティックトレーナー部会員
- スポーツ栄養士部会員
- スポーツファーマシスト
- その他、スポーツ医科学委員が認めた講師

講師派遣の内容例

- | | |
|----|---|
| 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ外傷・障害の基礎知識 ● スポーツと栄養 ● スポーツ心理学 ● アンチ・ドーピング ● 女性に対するスポーツ指導 ● けがの応急手当 など |
| 実技 | <ul style="list-style-type: none"> ● ストレッチ ● スポーツテーピング ● ウォーミングアップ、クールダウン |

女子選手の体調管理・トレーニング講習会



高齢者のけがの予防講習会



親子向け身体づくり教室



スポーツと栄養講習会



アンチ・ドーピング講習会



スポーツ心理学



アンチ・ドーピング教育・啓発活動では、競技者をはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと啓発活動を実施しています。



スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域19種類の資格を設け、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

公認スポーツ指導者資格の種類

①スポーツ指導者基礎資格

- スポーツコーチングリーダー
- スポーツリーダー(養成終了)

③メディカル・コンディショニング資格

- スポーツドクター
- スポーツデンティスト
- アスレティックトレーナー
- スポーツ栄養士

⑤ マネジメント指導者資格

- アシスタントマネジャー
- クラブマネジャー

②競技別指導者資格

- スタートコーチ
- コーチ1 (旧 指導員)
- コーチ2 (旧 上級指導員)
- コーチ3 (旧 コーチ)
- コーチ4 (旧 上級コーチ)
- 教師
- 上級教師

④フィットネス資格

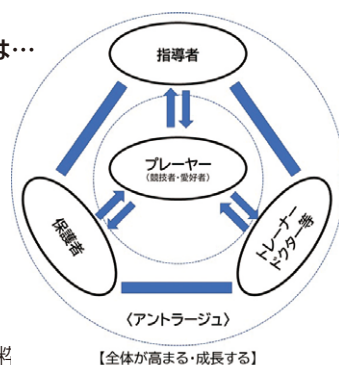
- フィットネストレーナー(養成終了)
- スポーツプログラマー
- ジュニアスポーツ指導員
- スタートコーチ(ジュニア・ユース)

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、**プレーヤーズセンタード**の考え方のもとに**暴力やハラスメント**などあらゆる**反倫理的行為を排除**し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者。

プレイヤーズセンターードとは…

プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身もそれぞれの Well-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。



※日本スポーツ協会HPから抜粋

【全体が高まる・成長する】

上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関すること、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネジャー養成講習会の運営、スポーツ少年団でスタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会の運営を行っています。

	競技名	開催期日	受講者数	会場
コーチ1(専門科目)	バドミントン	①8月2日～3日 ②8月9日	16名	学校法人尚志学園尚志高等学校 富久山総合学習センター別館
	水泳	①9月14日 ②11月16日 ③11月23日	5名	本宮市民プール 本宮第一中学校体育館
	テニス	①10月18日～19日	6名	グリーンアカデミースポーツクラブ
	ソフトテニス	①11月15日～11月16日 ②12月14日	32名	本宮市総合体育館 本宮市中央公民館・サンライズもとみや
	山岳	①7月5日～6日 ②11月8日～9日 ③1月10日～11日	4名	那須甲子青少年自然の家 聖ヶ岩ふるさとの森

令和7年度の競技別指導者資格の養成講習会は、各競技団体と連携し、上記の5競技において開催しました。

受講者の皆さんの、指導者としての高い志と熱意があふれる講義風景が印象的でした。

基礎理論から実技・指導実習、応急処置まで、多岐にわたるカリキュラムに真剣な面持ちで取り組む一方、グループワークでの意見交換や実技の合間に時折見せる明るい笑顔から、共に学ぼうとする前向きな様子が感じられました。専門と共通の両科目を無事に合格された皆様が、令和8年4月あるいは10月からJSPO公認スポーツ指導者として、地域のスポーツ振興の柱となり大いに活躍されることを期待しています。



〔 令和8年度公益財団法人日本スポーツ協会公認 コーチ1・コーチ2養成講習会について 〕

令和8年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに令和8年5月上旬に掲載予定です。

コーチ1（6競技）：ソフトテニス、テニス、卓球、水泳、バドミントン、
山岳（アルパインクライミング）

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会「指導者マイページ」に掲載されています。これから新たに指導者資格の取得を目指す方はもちろん、既に指導者資格をお持ちの方もぜひ日本スポーツ協会「**指導者マイページ**」の登録をお願いします。指導者マイページを利用すると、本県で開催される講習会以外にも全国各地で行われている講習会情報の取得や申込みが可能です。（登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。）



指導者マイページ（日本スポーツ協会）について
(<https://www.sports-fukushima.or.jp/coach/>)



福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会(更新研修会)を実施しており、今年度も下記のとおり開催しました。



開催日 第1回 令和7年 9月 7日(日) / 第2回 令和7年12月 7日(日) **参加者** 第1回 122名
場所 第1回 郡山ユラックス熱海 / 第2回 双葉町産業交流センター 第2回 64名

内容 第1回
 講演Ⅰ 演題「プレイヤーズセンタードなコーチング」
 講師：一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表、
 桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研修科教授、
 日本スポーツ協会共通科目コーチデベロッパー
 渋谷 崇行 氏
 講演Ⅱ 演題「トレーニングの科学」
 講師：福島県立医科大学付属病院リハビリテーションセンター、
 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
 嶋原 智彦 氏

第2回
 講演Ⅰ 演題「学校と連携した地域スポーツのこれから」
 講師：会津若松市地域運動部活動総括コーディネーター、
 柳津町教育委員会学校・地域スポーツアドバイザー
 小椋 裕 氏
 講演Ⅱ 演題「スポーツと栄養(栄養と回復)」
 講師：いわき市健康づくり推進課、
 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士
 高萩 多香野 氏



第1回研修会では、選手のやる気を引き出すためには「楽しさ」に結びつく基本的欲求を理解すること、そしてグッドコーチを目指すためには経験主義から脱却し、コーチングスキルを高める学びを続けることの重要性を学びました。また、熱中症予防や必要な睡眠の確保など、最新の知見に基づいたコンディショニングの重要性について、具体的な事例や科学的な根拠を元に深く掘り下げ、受講者が実際の現場でどのように活かすかを考える機会となりました。

第2回研修会では、運動部活動の地域展開における現状と課題、指導者の役割について具体的な事例と豊富な資料から実務的な知見を深めることができました。また、競技力向上に不可欠な栄養管理を疲労回復について学び、質疑応答では実践的なアドバイスを送られるなど今後の指導に活かされる充実した学びとなりました。

本研修会は、資格更新のためだけでなく、スポーツ指導者としての意識の向上と、質の高い指導の実現を目指すことのできる有意義な研修会となりました。

令和8年度の講習会受講にあたって

本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の**更新研修**にあたります。公認スポーツ指導者資格の有効期間は**4年間**と定められており、**資格を更新するためには有効期限の6か月前までに所定(競技によって異なる。)の更新研修を受けることが義務付けられています。**自身の資格の競技名や有効期限等を御確認いただき、対象競技の方はぜひ受講を御検討ください。地域でスポーツ活動を支えている方も、ぜひご参加ください!!

令和8年度の開催予定は下記のとおりです。

第1回 開催予定日:令和8年 9月13日(日) 場所:会津大学

第2回 開催予定日:令和8年11月29日(日) 場所:郡山ユラックス熱海

申込み方法 令和8年の6月下旬を目安に、本協会ホームページに実施要項を掲載します。そちらを御確認いただき、次の①～③のいずれかの方法でお申込みください。なお、①の**指導者マイページ**からの申込を原則とし、それが困難な場合は②または③の方法でお申込みください。

① インターネットサービス「指導者マイページ (https://my.japan-sports.or.jp/login)」で
 アカウント登録を行い、本講習会の申込手続きを行う。

指導者マイページの登録方法の詳細は、福島県スポーツ協会ウェブサイトを参照する。

【福島県スポーツ協会→スポーツ指導者→指導者マイページ (日本スポーツ協会) について】で検索

② FAX で申込む。FAX 番号: 024-521-7971

③ E-mail で申込む。送信先: shougai@sports-fukushima.or.jp

※②③については、福島県スポーツ協会ウェブサイトから参加申込み書をダウンロードし、
 必要事項を記入の上、期日までにお申込み下さい。

詳しくは、**ページ上部の二次元コード「福島県スポーツ指導者研修会」**よりご確認ください。

本研修会以外の更新研修会の情報については日本スポーツ協会ホームページを御覧ください。

・資格更新のための研修 - スポーツ指導者 - JSPO (https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid238.html)



研修会の様子



スポーツ指導者資格関連情報

【公認スポーツ指導者基本登録料の改定のお知らせ(令和8年10月登録以降)】

現在に至るまでの資格制度の拡充や社会状況の変化、特に今般の物価上昇などにより、令和8(2026)年10月から順次(※)、2種類の登録料を導入し、ご希望に応じて選択いただけるようにいたします。



デジタル版 (13,000円)

全ての印刷物をデジタル化し、それらの閲覧や確認はオンライン(メール含む)で提供します。登録料の納入はクレジットカード等の電子決済になります。

印刷送付版 (17,000円)

これまで通り各種の印刷物を郵送等で提供し、登録料の納入方法も従来通りです。

※令和7年度中に養成講習を受け、10,000円で案内済みの方は、令和8年10月の新規登録時に限り現登録料10,000円とします(ただし、継続して登録する方は除く)。

登録料については、公認スポーツ指導者の登録状況及び更新研修などを管理するシステムや指導者マイページの運用、スポーツに関する有益な情報を提供する「Sport Japan」「スポーツ指導者手帳」「メールマガジン」の作成・発送、登録・更新手続きの郵送案内などをはじめ公認スポーツ指導者制度の維持・管理、拡充等に関する各種費用に充当しております。

更新研修のご案内

公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間です。資格を更新するためには、**資格認定日(更新日)から資格有効期限の6か月前までに**、日本スポーツ協会あるいは当該中央団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。研修受講期限までに、更新研修を受講しなかった指導者へは更新登録案内が送付されませんのでご注意ください。なお、「スポーツリーダー」については、永年認定資格のための登録・更新はありません。



有効期限	有効期限	研修受講期限	更新登録手続き期間
2026年	3月31日の方	2025年9月30日	2026年2月～3月31日
	9月30日の方	2026年3月31日	2026年8月～9月30日
2027年	3月31日の方	2026年9月30日	2027年2月～3月31日
	9月30日の方	2027年3月31日	2027年8月～9月30日
2028年	3月31日の方	2027年9月30日	2028年2月～3月31日
	9月30日の方	2028年3月31日	2028年8月～9月30日
2029年	3月31日の方	2028年9月30日	2029年2月～3月31日
	9月30日の方	2029年3月31日	2029年8月～9月30日
2030年	3月31日の方	2029年9月30日	2030年2月～3月31日
	9月30日の方	2030年3月31日	2030年8月～9月30日

※ 資格認定日(更新日)に、それまでの研修実績がリセットされます。そのため、資格認定日以前の研修実績は、資格認定日以降の研修実績として持ち越されませんのでご注意ください。

例：2026年4月1日付で新規登録(追加登録や昇格は除く)や更新された場合
→2026年4月1日以降に開催された研修が実績の対象となります。

指導者マイページへの研修参加実績の反映について

参加から平均2か月程度で反映します。2か月後以降も反映されていない場合は、参加された研修会の運営団体までお問い合わせをお願いいたします。

※水泳・テニス・エアロビク・プロゴルフ・プロテニス・プロスキー・スポーツデンティスト・スポーツ栄養士の資格については、競技団体独自で受講実績を管理しているため、資格更新の約4か月前に反映されます。

スポーツ栄養士スキルアップ講習会

この講習会は、スポーツ愛好者や競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートや、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師を務める福島県スポーツ協会認定スポーツ栄養士のスキルの向上を図ることを目的としており、県内各地から、本協会認定スポーツ栄養士が19名参加しました。

【開催日・場所】令和7年7月27日(日) 福島県青少年会館

講習内容

講座1

女性アスリートの
スポーツ障害と
栄養について

福島県立医科大学
JSPO公認スポーツドクター
山口 明子 氏

月経に関する内容を中心に、女性アスリートが陥りやすい症状とその管理方法について、具体的な事例を交えた専門的な解説をいただきました。

講座2

スポーツ貧血の
予防と改善

医療法人社団敬愛会 理事長
菊池 悟 氏

貧血がパフォーマンスに与える影響や血液の仕組み、ドーピングに関する知識など、多角的で専門的な内容を分かりやすく噛み砕いて解説していただきました。

講座3

スポーツの現場から
(ソフトテニス)

福島県スポーツ協会
生涯スポーツ係
青木 祐輔 氏

競技特性や選手の実態など現場視点の解説を受け、指導者が抱える課題についてワークショップを実施。参加者同士の対話を通じて解決策を模索し、スポーツ栄養士として実践力を高め合う充実した時間となりました。

講座4

実践報告
(栄養アセスメントについて)

JSPO公認スポーツ栄養士
武藤 真紀 氏
JSPO公認スポーツ栄養士
武田 美香 氏

写真法や聞き取りにおける具体的なコツ、留意点について、実例に基づいた解説が行われました。受講者は、自身の活動現場を想起しながらアセスメント精度の向上に向けた実践的な学びを深めました。

活動の様子



参加者の声...

- 医師と栄養士との連携の実際について聞いて参考になった。
- 月経の重要性をしっかりと伝えられる栄養指導ができるようになりたい。
- 貧血の種類やそれぞれの治療・病態について学ぶことができた。
- お互いの意見をディスカッションすることで、多くの情報を得られた。
- 自分がアセスメントする場面でも同様の悩みがあり、とても勉強になった。

今回の講習会を通して、受講された皆様が、多くのアスリートやスポーツを愛好する方々の夢を支え、福島県のスポーツを力強く推進する存在として活躍されることを期待しています。



アスレティックトレーナースキルアップ講習会

本講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業の講師、競技者・スポーツ愛好者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する福島県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーのスキルアップを目的として、平成27年度から隔年で開催し、今回で6回目の開催となりました。

本年度は、昨年度認定アスレティックトレーナー養成講習会を受講した17名に加え、スキルアップを目指す18名の合計35名が参加しました。

講習内容(集合講習会) 1日目 11月29日(土)

福島県青少年会館



女性アスリートの特性

JSPO公認スポーツドクター
野口 まゆみ 氏



アンチ・ドーピング

JADAスポーツファーマシスト
鍛冶内 大輔 氏



リコンディショニング

JSPO公認アスレティックトレーナー
服部 和彦 氏



スポーツ外傷・障害の予防 (テーピング)

JSPO公認アスレティックトレーナー
相原 真 氏

講習内容(集合講習会) 2日目 11月30日(日)

福島県青少年会館



スポーツ外傷時の救急対応 (脳震とうへの対応)

JSPO公認スポーツドクター
佐藤 昌宏 氏



スポーツと栄養 (競技団体のサポート)

JSPO公認スポーツ栄養士
佐久間 茜 氏



コンディショニング

JSPO公認アスレティックトレーナー
小野 直也 氏

本講習会は日本スポーツ協会の公認アスレティックトレーナー養成講習会のカリキュラムを参考に講座を設定し、本協会スポーツ医・科学委員や公認スポーツ指導者を講師に招いて行われました。受講者の皆さんには今後、アスレティックトレーナー部会の活動やスポーツ医事・トレーニング相談事業、各種研修会等、本県の競技力向上や生涯スポーツの振興事業等で御活躍いただきたいと思います。

活動の様子





福島県

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会とは

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(県協議会)は、県内で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

福島県で設立されている総合型クラブの内、登録・認証制度「登録制度」に認定された44の総合型クラブによって構成されています。

県協議会は、地域区分ごとに地区連絡協議会が結成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。

また、今年度から運用が開始された認証制度「中学校部活動の地域展開タイプ」において、NPO法人かわまたスポーツクラブが東北で唯一の認証クラブとなりました。

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 令和7年度 県内総合型地域スポーツクラブ 登録クラブ一覧

No	ク ラ ブ 名	市区町村	地区	No	ク ラ ブ 名	市区町村	地区
1	あだちスポーツクラブ	二本松市	県北	22	謹教スポーツクラブ	会津若松市	会津
2	一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブ			23	特定非営利活動法人ひめさゆりくらぶ	喜多方市	
3	一般社団法人にほんまつ城山クラブ			24	やまとスポーツクラブ	猪苗代町	
4	岳クラブ			25	カメリーナススポーツクラブ		
5	東和さわやかスポーツクラブ			26	特定非営利活動法人スポーツクラブバンビィ	会津坂下町	柳 津 町
6	特定非営利活動法人生涯学習プロジェクトもとみや 【もとみやスポーツネットワーク】	本 宮 市		27	特定非営利活動法人赤べこトータルスポーツ	柳 津 町	
7	国見町総合型地域スポーツクラブ ももたんスポーツクラブ	国 見 町		28	特定非営利活動法人会津美里クラブ衆	会津美里町	南会津
				29	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ	只 見 町	
8	NPO 法人かわまたスポーツクラブ ※認証制度【中学校部活動の地域展開タイプ】認証クラブ	川 俣 町	30	NPO 法人ひのきスポーツクラブ	南会津町	相双	
			31	NPO 法人そうま中央スポーツクラブ	相 馬 市		
9	Vivakids スポーツクラブ	郡 山 市	32	浮舟うきうきクラブ	南相馬市		
10	滝根いきいきクラブ	田 村 市	33	NPO 法人はらまちクラブ			
11	特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ	鏡 石 町	34	太田大甕スポーツクラブ			
12	特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ	玉 川 村	35	特定非営利活動法人かしま元気スポーツクラブ	広 野 町		
13	総合型地域スポーツクラブ「仲間」	県南	36	NPO 法人広野みかんクラブ			富 岡 町
14	特定非営利活動法人チーム青い空		37	一般社団法人榎葉町スポーツ協会	榎 葉 町		
15	21' スポーツクラブ i n しらかわ		38	公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社	富 岡 町		
16	NPO 法人西の郷スポーツクラブ		西 郷 村	39	いいたてスポーツクラブ	飯 館 村	いわき
17	矢吹スポーツクラブ		矢 吹 町	40	総合型地域スポーツクラブ 泉クラブ	いわき市	
18	棚倉スポーツクラブ		棚 倉 町	41	総合型地域スポーツクラブ Teco		
19	特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ		塙 町	42	特定非営利活動法人いわき・あいスポねっと		
20	特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ		鮫 川 村	43	特定非営利活動法人いわきクラブ		
21	きたあいづスポーツクラブ	会津若松市	会津	44	認定 NPO 法人いわき F スポーツクラブ		
※地区ごと、地方公共団体コード順に掲載							

※地区ごと、地方公共団体コード順に掲載

令和8年度の登録期間は、
令和8年4月1日から令和9年3月31日となります。
令和8年度登録クラブ一覧は右のQRコードから確認できます。(令和8年4月更新予定)



「登録・認証制度」
についてはこちら





デフリンピック サッカー観戦

実施内容

10:40～11:00	受付
11:00～11:15	開会行事・ 競技説明
11:15～12:00	集合写真撮影・ 試合観戦準備
12:00～14:00	試合観戦
14:00～14:15	閉会行事



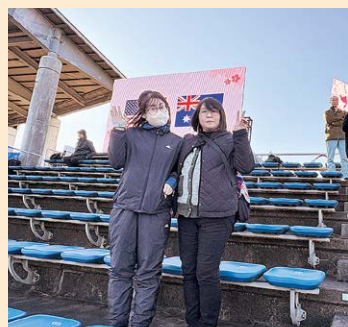
令和7年度の交流事業では、東京2025デフリンピックのサッカー競技を観戦しました。

デフリンピックは聴覚に障がいのある選手による国際スポーツ大会で、1924年に始まり、4年に1度、世界各国・地域から多くの選手が参加します。今大会は日本での開催であり、サッカー競技が福島県内のJヴィレッジで行われることから、多様なスポーツ文化への理解を深めつつ交流を図ることを目的に事業を実施しました。

当初は、女子日本代表の試合を観戦する予定でしたが、対戦国が不出場となったため試合が中止となり、Jヴィレッジスタジアムで行われたアメリカ代表対オーストラリア代表の試合を観戦しました。

初めての観戦でしたが、聴覚に障がいがあることを感じさせない迫力とスピード感に圧倒されました。選手同士の連携や集中力の高さにも感動し、デフスポーツへの理解が大きく深まる貴重な機会となりました。

交流会の様子



福島県内のスポーツクラブの現状、課題とこれからについて



実施内容

13:10～13:30 受付
13:30～13:40 開会行事

13:40～16:30 研修会
・課題提起
・グループワーク
16:30～16:40 閉会行事



佐藤幹事長あいさつ

持続可能なクラブ運営が課題となる中、本研修事業では「福島県内のスポーツクラブの現状、課題とこれから」をテーマに、課題提起およびグループワークを実施しました。

実際にクラブ運営に携わる参加者同士が意見交換を行うことで、現状認識の共有とモチベーションの向上を図ることを目的としました。

グループワークでは、「人材の確保」「財源の確保」「部活動の地域展開」など、総合型地域スポーツクラブの運営と密接に関わる課題について活発な意見が交わされ、非常に有意義な議論が展開されました。

今後もこのような機会を通じて課題を共有し、クラブ間の連携を深めながら、地域におけるスポーツ環境の基盤強化に努めていきたいと考えています。

研修会の様子





公認アシスタントマネジャー養成講習会

クラブ運営の入門資格 公認アシスタントマネジャー

総合型地域スポーツクラブのクラブ運営を支える人材を育成するための認定資格です。主に地域スポーツクラブの事務・運営補助やイベント運営のサポートを担う基礎的な知識と技能を学びます。クラブを支える運営スタッフの入門資格という位置づけであり、その上位資格として、公認クラブマネジャーがあります。



8月30日(土)・31日(日)の両日、キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)において、令和7年度公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催しました。

クラブ運営に必要な基礎知識や役割について学び、講義と演習を通じて理解を深めました。受講者は6名と例年より少ない人数での講習会となりましたが、少人数ならではのアットホームな雰囲気の中で、受講者同士の意見交換も活発に行われ、実践的な気づきが多く得られました。

今回参加された皆さまには、今回の講習会で学んだことを、地域を元気にする取り組みの一助として活かしていただければと思います。

講師紹介

「地域スポーツクラブとは」 「地域スポーツクラブの現状」



福島市立
福島第二小学校
菅野 裕氏

総合型地域スポーツクラブ 「マネジャー講話Ⅰ(県内クラブ)」



NPO 法人
たまかわ元気
スポーツクラブ
鈴木 広美氏

「クラブマネジャーの役割」



早稲田大学
スポーツビジネス
研究所
松澤 淳子氏

総合型地域スポーツクラブ 「マネジャー講話Ⅱ(県外クラブ)」



NPO 法人
スポネット弘前
鹿内 葵氏

「クラブの運営」・「法人格取得」



県文化スポーツ局
文化振興課
渡部 大地氏

「クラブのつくり方」・ 「クラブの運営」



国見町総合型地域
スポーツクラブ/
ももたんスポーツ
クラブ
半澤 由美子氏

研修会の様子



受講者の声

- 実際に活動されている方のお話を聞き、地域スポーツを支える立場としてとても参考になった。
- 社会課題、地域課題の解決のために尽力していきたいと思った。
- スポーツを目的ではなく手段とすることで、様々な地域貢献が図られるということが分かった。大きな可能性を感じた。

《 令和7年度福島県スポーツ少年団の登録状況 》

登録団数	指導者数	役員数	スタッフ数	団員数計
797団	2,528名	302名	1,939名	16,622名

◇男子	幼 児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
	84名	2,242名	5,737名	2,480名	174名	10,717名

◇女子	幼 児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
	44名	1,288名	3,017名	1,431名	125名	5,905名

令和7年度 福島県スポーツ少年団表彰

◇功労者(5名)

No.	支部	氏 名	所属団体名
1	県北	阿部 稔	岡山ミニバスケットボールスポーツ少年団
2	県北	鈴木 吉夫	五百川バスケットボールクラブ
3	県中	佐久間俊男	行徳ソフトボールスポーツ少年団
4	県南	大室 一哉	振武館・須賀川市剣道スポーツ少年団
5	県南	北村 武宣	白河市卓球スポーツ少年団

◇優良団体(4団体)

No.	支部	団体名	市町村
1	県北	松川スポーツ少年団ミニバスケットボール部	福島市
2	県中	振武館・須賀川市剣道スポーツ少年団	須賀川市
3	県中	学童軟式野球喜久田イーグルススポーツ少年団	郡山市
4	県南	白河柔道スポーツ少年団	白河市

令和7年度 日本スポーツ少年団表彰

◇表彰登録指導者(3名)

No.	支部	氏 名	所属団体名
1	県北	熊坂 嘉延	瀬上バレーボールスポーツ少年団
2	県北	佐藤 光一	二本松ジュニアソフトテニススポーツ少年団
3	相双	番場 俊行	大甕サッカースポーツ少年団



エンジョイ！軟式野球フェスティバル東北Ⅱブロック代表決定大会

- ・期 日 令和7年7月6日(日)
- ・会 場 楽天イーグルス蔵王球場
- ・出場団 小名浜少年野球教室スポーツ少年団



第48回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

- ・期 日 令和7年9月13日(土)～15日(月)
- ・会 場 大井ホッケー競技場
- ・出場団 棚倉ホッケースポーツ少年団



エンジョイ！バレーボールフェスティバル2025

- ・期 日 令和7年12月25日(木)～28日(日)
- ・会 場 島津アリーナ京都他
- ・出場団 鎌田バレーボールスポーツ少年団

エンジョイ！剣道フェスティバル2026

- ・期 日 令和8年3月27日(金)～29日(日)
- ・会 場 富山県総合体育センター
- ・出場団 伊南スポーツ少年団
- ・参加者 個人戦 男子 渡部 永遠(只見剣道スポーツ少年団) / 個人戦 女子 馬場 心暖(伊南スポーツ少年団)



《 令和7年度 福島県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール 》



〈 県北支部 12/24 (水)・25 (木) 県営あづま総合体育館 〉



〈 県中支部 12/20 (土)・21 (日) 郡山安積総合学習センター 〉



〈 県南支部 7/30 (水)・31 (木) 国立那須甲子青少年自然の家 〉



〈 会津支部 11/1 (土)・2 (日) 国立磐梯青少年交流の家 〉



〈 いわき支部 8/5 (火)～7 (木) いわき海浜自然の家 〉

《 第52回日独スポーツ少年団同時交流 》



〈 派 遣 〉



〈 受 入 〉

《 福島県スポーツ少年大会 》

令和8年1月31日(土)～2月1日(日) 国立磐梯青少年交流の家



《 公認スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 》

【福島1コース】令和7年10月11日(土) 郡山ユラックス熱海／【福島2コース】令和8年1月24日(土) オンライン開催



チャリティー情報

チャリティーゴルフコンペを開催しました！

趣 旨 ゴルフをととして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主 催 公益財団法人福島県スポーツ協会

後 援 福島県ゴルフ連盟

期 日 令和7年11月2日(日)

会 場 郡山ゴルフ倶楽部



チャリティーボウリングを開催しました！

趣 旨 ボウリングをととして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主 催 公益財団法人福島県スポーツ協会

主 管 福島県ボウリング連盟

期 日 令和8年1月31日(土)
13時00分 開始式

会 場 福島オークラボウル



チャリティーポロシャツを販売しています！

速乾性に優れたメッシュ素材のボタンダウンポロシャツ。カラーは全部で**26種類**。
チームカラーやお好みの色のポロシャツを着て、FUKUSHIMAのスポーツを盛り上げよう！！



本協会では、「スポーツと未来へ ふくしまプライド」のスローガンのもと、「チャリティーポロシャツ」を作成しています。このポロシャツは、個人・団体問わずどなたでも購入できます。チーム名や校章・マーク等の刺繍もできますので、大会や練習、イベント、職場など様々な場面で着用し、一体感を高め、福島県のスポーツを盛り上げましょう！！

なお、収益は、本協会におけるスポーツ振興事業のための一助とさせていただきます。注文や詳細については、QRコードをご覧ください。



〈フロントデザイン〉
福島の誇りを胸に「頑張ろう」「応援しよう」という意味を表現。



〈バックデザイン〉
「私もチーム福島の一員」「チーム福島のみんながあなたを後押ししている」という意味を表現。マークは浜・中・会津の一体感をイメージ。



公益財団法人福島県スポーツ協会組織図



専 門 委 員 会		理 事 会		評 議 員 会	
競技力向上委員会 生涯スポーツ推進委員会 福島県総合スポーツ大会委員会 総務・財務委員会 スポーツ医・科学委員会 表彰者選考委員会 傷害見舞金給付審査委員会		会 長 副 会 長 専 務 理 事 常 務 理 事 理 事		評 議 員	
事 務 局					

加 盟 団 体 1 1 8			
競技団体 56	市町村体育・スポーツ協会 59	学校体育団体 2	公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 1

競技団体

1 (一財)福島陸上競技協会	31 福島県銃剣道連盟
2 福島県野球連盟	32 (一社)福島県クレア射撃協会
3 福島県ソフトテニス連盟	33 福島県セーリング連盟
4 福島県テニス協会	34 福島県空手道連盟
5 (一財)福島県サッカー協会	35 福島県アーチェリー協会
6 福島県ハンドボール協会	36 福島県なぎなた連盟
7 (一社)福島県卓球協会	37 福島県アイスホッケー連盟
8 福島県剣道連盟	38 福島県ボウリング連盟
9 福島県ローイング協会	39 福島県ゴルフ連盟
10 (一社)福島県水泳連盟	40 福島県カヌー協会
11 福島県自転車競技連盟	41 福島県ゲートボール協会
12 福島県ホッケー協会	42 福島県少林寺拳法連盟
13 福島県相撲連盟	43 福島県オリエンテーリング協会
14 福島県ライフル射撃協会	44 福島県パワーリフティング協会
15 (一社)福島県バスケットボール協会	45 福島県ダンススポーツ連盟
16 福島県バドミントン協会	46 福島県武術太極拳連盟
17 福島県ボクシング連盟	47 福島県綱引連盟
18 福島県柔道連盟	48 (一社)福島県トライアスロン協会
19 福島県弓道連盟	49 福島県グラウンド・ゴルフ協会
20 福島県ラグビーフットボール協会	50 JABA福島県野球協会
21 福島県体操協会	51 福島県テコンドー協会
22 福島県スキー連盟	52 福島県バウンドテニス協会
23 福島県スケート連盟	53 福島県スポーツチャンバラ協会
24 福島県馬術連盟	54 福島県ボールルームダンス連盟
25 福島県ソフトボール協会	55 福島県エアロビック連盟
26 (一社)福島県バレーボール協会	56 特定非営利団体活動法人 スポーツウェルネス吹矢協会
27 福島県ウエイトリフティング協会	
28 福島県レスリング協会	
29 福島県フェンシング協会	
30 福島県山岳・スポーツクライミング連盟	

市町村団体

1 福島市スポーツ協会	31 (公財)喜多方市体育協会
2 二本松市スポーツ協会	32 北塩原村スポーツ協会
3 伊達市スポーツ協会	33 西会津町スポーツ協会
4 桑折町スポーツ協会	34 磐梯町スポーツ協会
5 国見町体育協会	35 猪苗代町スポーツ協会
6 川俣町スポーツ協会	36 会津坂下町スポーツ協会
7 大玉村スポーツ協会	37 湯川村スポーツ協会
8 本宮市スポーツ協会	38 柳津町スポーツ協会
9 郡山市スポーツ協会	39 三島町スポーツ協会
10 須賀川市スポーツ協会	40 金山町スポーツ協会
11 田村市体育協会	41 昭和村体育協会
12 鏡石町体育協会	42 会津美里町スポーツ協会
13 天栄村体育協会	43 南会津町スポーツ協会
14 石川町体育協会	44 下郷町スポーツ協会
15 玉川村スポーツ協会	45 檜枝岐村スポーツ協会
16 平田村体育協会	46 只見町スポーツ協会
17 浅川町体育協会	47 相馬市スポーツ協会
18 古殿町スポーツ協会	48 南相馬市スポーツ協会
19 三春町体育協会	49 広野町体育協会(広野町生涯学習課)
20 小野町体育協会	50 (一社)榎葉町スポーツ協会
21 特定非営利活動法人白河スポーツ協会	51 富岡町教育委員会(富岡町体育協会)
22 西郷村スポーツ協会	52 川内村スポーツ協会
23 泉崎村スポーツ協会	53 大熊町体育協会
24 中島村体育協会	54 双葉町スポーツ協会
25 矢吹町スポーツ協会	55 浪江町スポーツ協会
26 棚倉町スポーツ協会	56 葛尾村体育協会
27 矢祭町スポーツ協会	57 新地町スポーツ協会
28 塙町スポーツ協会	58 いいたてスポーツクラブ(飯館村体育協会)
29 鮫川村スポーツ協会	59 いわき市体育協会
30 会津若松市スポーツ協会	

令和7・8年度公益財団法人福島県スポーツ協会役員名簿

No.	役職名	氏 名	選 任 区 分	備 考
	名 誉 会 長	内 堀 雅 雄		福島県知事
	顧 問	宗 形 守 敏		(株)モリヨシ内
	顧 問	須 佐 喜 夫		福島県商工信用組合名誉会長
1	会 長	北 村 清 士	学識経験者	(株)東邦銀行顧問
2	副 会 長	片 平 俊 夫	加盟競技団体	福島陸上競技協会名誉顧問
3	副 会 長	安 藤 喜 勝	地域連合	県中地域連合会長
4	副 会 長	穂 本 哲 哉	学校体育団体	福島県高等学校体育連盟会長
5	副 会 長	佐 々 木 彰	学識経験者	福島県議会議員代表
6	副 会 長	丹 治 貴 子	県	文化スポーツ局次長
7	専 務 理 事	飯 塚 悟 郎	県	文化スポーツ局スポーツ課長
8	常 務 理 事	壺 岐 ひろみ	加盟競技団体	(一社)福島県水泳連盟会長
9	常 務 理 事	長 澤 初 男	加盟競技団体	福島県ソフトボール協会顧問
10	常 務 理 事	菊 池 芳 次	市町村体育協会	会津地域連合会長
11	常 務 理 事	高 橋 吉 市	スポーツ少年団	福島県スポーツ少年団本部長
12	常 務 理 事	青 柳 茂 宏	学校体育団体	福島県中学校体育連盟会長
13	常 務 理 事	佐 藤 靖 弘	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会幹事長
14	理 事	高 橋 雅 行	学識経験者	福島民報社元代表取締役社長
15	理 事	斉 藤 一 美	加盟競技団体	(一社)福島県卓球協会会長

任期：令和5年度定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

令和8年1月27日現在

No.	役職名	氏 名	選 任 区 分	備 考
16	理 事	松 本 代志博	加盟競技団体	福島県弓道連盟会長
17	理 事	佐 藤 英 壽	加盟競技団体	福島県スケート連盟会長
18	理 事	菊 地 俊 美	加盟競技団体	福島県ウエイトリフティング協会会長
19	理 事	遠 藤 均	加盟競技団体	福島県ハンドボール協会会長
20	理 事	吉 田 勝 重	地域連合	県北地域連合会
21	理 事	五十嵐 啓 介	地域連合	県南市町村スポーツ協会連合会長
22	理 事	渡 部 友 幸	地域連合	南会津地域連合会スポーツ協会会長
23	理 事	武 内 雅 之	地域連合	相双地域連合会長
24	理 事	吉 田 信 治	地域連合	いわき市体育協会会長
25	理 事	堀 川 哲 男	学識経験者	公立藤田総合病院名誉院長
26	理 事	猪 俣 明 伸	学識経験者	福島県議会議員代表
27	理 事	安 部 泰 男	学識経験者	福島県議会議員代表
28	理 事	吉 田 真希子	学識経験者	(株)東邦銀行陸上競技部監督
29	理 事	安 彦 元 気	学識経験者	あびこ法律事務所弁護士
30	監 事	高 萩 孝 平	加盟競技団体	(一財)福島陸上競技協会
31	監 事	西 形 吉 和	外部監事	株式会社西形商店 代表取締役社長
32	監 事	末 永 敏 則	加盟競技団体	(一社)福島県水泳連盟

No	加盟団体	評議員名
1	軟式野球	山内光樹
2	ソフトテニス	小野間幸一
3	テニ	岩永尚士
4	サッカー	青田由広
5	剣道	武藤士津夫
6	ローイング	阿久津光俊
7	自転車競技	班目真紀夫
8	バスケットボール	安斎司
9	バドミントン	山森祐子
10	ボクシング	藍原浩
11	柔道	佐川勝人
12	スキー	阿部和博
13	ソフトボール	大野正美
14	バレーボール	山口真二
15	フェンシング	秦秀行
16	山岳・スポーツライミング	平子吉政
17	アーチェリー	渡邊正仁

No	加盟団体	評議員名
18	なぎなた	矢澤良伸
19	アイスホッケー	水野英暢
20	ボウリング	伊藤寛
21	ゴルフ	原通雄
22	カヌー	遊佐久男
23	ゲートボール	佐藤一八
24	少林寺拳法	鈴木賢一
25	オリエンテーリング	廣田雅幸
26	綱引	安斎一二
27	グラウンド・ゴルフ	岩間裕子
28	スポーツチャンバラ	堀田満
29	吹矢	鈴木元子
30	県北地域連合会	杉内貞夫
31	市町村体育協会の 県中地域連合会	手塚英勝
32	県南市町村 スポーツ協会連合会	沼田重一

No	加盟団体	評議員名
33	会津地域連合会	齋藤幹夫
34	南会津地域連合会 会津スポーツ協会	星公二
35	相双地域連合会	林浩徳
36	いわき市体育協会	愛川政弘
37	高等学校体育連盟	齊藤祐介
38	中学校体育連盟	八巻裕介
39	スポーツ少年団	松本裕治
40	福島県総合型地域 スポーツクラブ連絡協議会	吉田義之
41	障がい者スポーツ協会	七宮弘

※任期は令和3年度の定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

令和7年度公益財団法人福島県スポーツ協会事業概要

基本方針

公益財団法人福島県スポーツ協会は、競技力の向上と生涯スポーツの推進を二大目標として掲げ、公益財団法人日本スポーツ協会や県・市町村及び加盟団体と連携を図りながら各種事業を推進し、「スポーツに強いふくしま」の確立に努める。

1 競技力の向上

公益財団法人福島県スポーツ協会は「スポーツに強いふくしま」の確立を図るため、加盟競技団体、福島県中学校体育連盟、福島県高等学校体育連盟等との連携をより密接なものとし、競技力向上に向けた各種強化事業を積極的に推進する。

2 生涯スポーツの推進

県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努める。

事業内容

1 スポーツ振興事業（公益目的事業1）

（令和8年2月26日時点）

事業名	月日	人数等	会場	内容
1 双葉地区教育構想支援事業（専任コーチ派遣）	通年	—	ふたば未来学園高等学校	双葉地区未来創造型リーダー育成構想に関し、バドミントン競技、レスリング競技におけるトップレベルの専任コーチを派遣し優秀な選手育成に資する。
2 アンチ・ドーピング教育・啓発事業	通年	41競技	県内各地	アンチ・ドーピング（ドーピング防止）徹底のため、講習会開催や情報提供活動等を実施し、健全なスポーツ活動の推進を図る。
3 子ども運動会啓発事業	R7.9.23	362名	福島市	親子で行う体操や運動を通して、幼児期における子どもたちの運動への関心や意欲を高めるとともに、幼児教育に携わる指導者の指導力向上を図る。
4 スポーツ医事・トレーニング相談事業	通年	73回	県内各地	スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図るための講師の派遣等を行う。
5 スポーツ情報提供事業	通年	全県民対象	—	生涯スポーツに関する情報の収集や整理を行い、情報を発信するためのホームページ、Instagramの運営と広報誌「Sport Fukushima」、メールマガジン「福スポ協ニュース」の発刊
6 福島県スポーツ指導者研修会（更新研修会）	R7.9.7 R7.12.7	186名	郡山市 双葉町	指導者の資質向上と地域におけるスポーツ活動の活性化を図るための研修会の実施
7 J S P O 公認コーチ1・2養成講習会	R7.6～ R8.1	63名	県内各地	クラブ等において、対象に合わせた指導のできる競技別指導者を養成するための講習会の開催
8 ふくしまスポーツキッズ発掘事業	通年	19競技 22種目	県内各地	小学生・中学生を対象とした、スポーツとふれあう機会の拡充と未来のふくしまのスポーツを担う人材の発掘・育成
9 顕彰事業の実施（表彰式）	R7.12.24	176名	福島市	スポーツ功労賞、優秀選手賞（個人・団体）、優秀指導者賞、社会体育優良団体賞、特別賞に対する表彰

事業名	月日	人数等	会場	内容
10 市町村体育大会開催事業	通年	市町村体育・スポーツ協会	県内各地	市町村体育・スポーツ協会が実施する体育大会に対して経費を一部助成
11 自転車競技場の運営	通年	—	泉崎村	泉崎国際サイクルスタジアムを泉崎村に無償貸与し管理運営を委託 また、令和8年度東北総スボ自転車競技会場として認定を受けるため、走路等の改修工事を実施する。
12 福島県総合大会の開催	R7.4～ R8.1	①51競技 ②6競技 ③17競技	県内各地	①第52回東北総合スポーツ大会・第79回国民スポーツ大会の選手選考会等 *メイン開催 R7.7.12(土)～7.14(月) *冬季競技は、第80回国民スポーツ大会の選手選考会等大会の選手選考会等 ②地域スポーツ大会(地域連合会) ③スポーツ少年団大会
13 東北総合スポーツ大会への派遣	R7.6～ R7.12 主会期(8.22～ 8.24)	37競技	宮城県内各地 青森県西目屋村	令和7年度国民スポーツ大会 東北ブロック大会 兼 第52回東北総合スポーツ大会
14 国民スポーツ大会への派遣	R7.9.6～ R8.2.17	39競技	滋賀県内各地 大阪府能勢町 兵庫県三木市 京都府向日市 青森県八戸市 三沢市 青森県八戸市 ・スケート競技(スピード、フィギュア) 青森県八戸市 ・スケート競技(ショート)青森県三沢市 ・アイスホッケー競技 青森県八戸市、三沢市	第79回国民スポーツ大会 ※会期前実施競技 R7.9.6(土)～9.15(月)、 9.21(日)～9.25(木) ※本大会 R7.9.28(日)～10.7(火) 第80回国民スポーツ大会 R8.1.31(土)～2.8(日) ・スケート競技(スピード、フィギュア) 青森県八戸市 ・スケート競技(ショート)青森県三沢市 ・アイスホッケー競技 青森県八戸市、三沢市
			青森県大鰐町 秋田県鹿角市	第80回国民スポーツ大会 R8.2.15(日)～2.17(火) ・スキー競技 青森県大鰐町、秋田県鹿角市

2 競技力向上特別対策事業（公益目的事業2）

選手の育成・強化

	事業名	月日	人数等	会場	内容
1	スポーツふくしまビルドアッププロジェクト	通年	① 38競技	県内・ 県外各地	国スポ等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組み、「発掘・育成・強化」の一体的な推進による持続的な本県スポーツ競技力の向上を図る ①国スポ強化支援事業 ・国スポ上位入賞に向けた強化練習会、合宿等の開催 ・国スポ入賞、ブロック大会突破に向けた強化練習会、合宿等の開催 ②リアライズスポーツ強化指定事業 ・東京2020オリンピックを通して本県との関わりが深く、競技力向上に資することが期待される団体種目の少年種別を指定し更なる強化を図る ③拠点スポーツサポート事業 ・競技人口減少等の課題を有する競技団体にに対し、強化拠点地域内のキッズ・ジュニア選手の活動を集中的に支援し競技の裾野拡大と底上げを図る ④ジュニアアスリート強化指定事業 ・震災の影響等により競技力の低迷が課題となっている少年種別の競技力向上のため、競技種目ごとに中心的な役割を果たす中学校・高等学校、クラブチーム、ジュニア選手に対して活動を支援する ⑤ネクストアスリート17名 ・日本代表入りをし、国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOCや中央競技団体が実施する強化練習会に要する費用等を支援する ⑥冬季国スポ強化支援事業 ・冬季3競技において国スポ等での入賞を目指し、競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等実施に要する費用を支援する ⑦ふくしまシャイニングスタープロジェクト ・オリンピック出場選手輩出実績のある競技の体力テストや適性テスト等を行い、将来性があるアスリートを発掘するとともに、競技開始と定着を支援する
			② 3競技 6種別		
			③ 10競技		
2	強化合宿事業への指導・助言	通年	④ 36競技	県内・ 県外各地	④ジュニアアスリート強化指定事業 ・震災の影響等により競技力の低迷が課題となっている少年種別の競技力向上のため、競技種目ごとに中心的な役割を果たす中学校・高等学校、クラブチーム、ジュニア選手に対して活動を支援する ⑤ネクストアスリート17名 ・日本代表入りをし、国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOCや中央競技団体が実施する強化練習会に要する費用等を支援する ⑥冬季国スポ強化支援事業 ・冬季3競技において国スポ等での入賞を目指し、競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等実施に要する費用を支援する ⑦ふくしまシャイニングスタープロジェクト ・オリンピック出場選手輩出実績のある競技の体力テストや適性テスト等を行い、将来性があるアスリートを発掘するとともに、競技開始と定着を支援する
			⑤ 3競技		
3	ふくしまゴルフプロジェクト	通年	競技指導者・ 競技者	県内	一般社団法人日本女子プロゴルフ協会から講師を招聘し、県内ゴルフ人口の裾野拡大と指導者の育成及び競技力の向上を目的とした「ふくしまゴルフ人材育成事業」を実施

会議等

	事業名	月日	人数等	会場	内容
1	体育・スポーツ団体調整会議	R7.5.13	41競技強化担当者等 81名	福島市	各競技団体の強化担当者や事務担当者とは各種競技力向上事業について連絡調整を図り、共通理解のもと一層効率的な強化事業の推進に努めるための会議の開催
2	強化対策会議（競技団体のヒアリング）	R7.12.9	41競技強化担当者 43名	福島市	令和7年度強化事業の反省と第80回国民スポーツ大会に向けた競技力の現状分析と対応策についての会議の開催

4 令和7年度福島県スポーツ少年団事業（公益目的事業4）

区分	事業名	月日	人数等	会場	内容
国内交流 競技別交流大会	JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH (旧全国スポーツ少年大会)	7月31日～8月3日	不参加	佐賀県	
	東北ブロックスポーツ少年大会	7月25日～27日	不参加	宮城県	
	福島県スポーツ少年大会	1月31日～2月1日	45名	福島県	
	福島県総合スポーツ大会スポーツ少年団大会【主会期】	6月～7月	18競技	県内各地	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会福島県大会	6月21日～22日	16チーム	相双支部	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 東北Ⅱブロック予選大会	7月5日	1チーム	宮城県	
	東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会	11月29日～30日	12チーム	福島県	
	エンジョイ！軟式野球フェスティバル2025 (旧全国スポーツ少年団軟式野球交流大会)	8月8日～11日	不参加	三重県	
	全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	9月13日～15日	1チーム	東京都	
	JFA全日本U-12サッカー選手権大会 (日スポ共催)	12月26日～29日	不参加	鹿児島県	
	エンジョイ！バレーボールフェスティバル2025 (旧全国スポーツ少年団バレー交流大会)	12月25日～28日	1チーム	京都府	
	エンジョイ！剣道フェスティバル2025 (旧全国スポーツ少年団剣道交流大会)	3月27日～29日	1チーム	富山県	
交流際	日独スポーツ少年団同時交流【受入】	7月31日～8月14日	7名	福島・宮城県	
	日独スポーツ少年団同時交流【派遣】	7月30日～8月14日	1名	ドイツ	
	日独スポーツ少年団指導者交流【受入】	10月27日～11月8日	12名	福島・宮城県	スポーツ少年団員との交流やスポーツ大会を通して、青少年のからだところを育み、健全育成に努めるための各種交流大会並びに競技別交流大会
リレー 養成	ジュニア・リーダースクール (県内6会場)	7月～12月	45名	各支部	
	日本スポーツ少年団シニア・リーダーズスクール	8月6日～9日	1名	静岡県	
指導者 養成	スタートコーチ (ジュニア・ユース) 養成講習会 (集合講習・グループワーク) 1コース	10月11日 (8月eラーニング)	153名	集合:ユラックス熱海	
	スタートコーチ (ジュニア・ユース) 養成講習会 (オンライングループワーク) 2コース	1月24日 (12月eラーニング)	114名	オンライン	
指導者 研修	福島県育成母集団研修会	1月25日	30名	いわき支部	
	東北ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	11月13日～14日	1名	青森県	
リレー 大会	スポーツ少年団指導者更新研修会	12月7日/12月21日	91名	会津支部・県北支部	
	福島県スポーツ少年団リーダー会定例会 (4回)	5月～3月	10名	郡山市	
	全国スポーツ少年団リーダー連絡会	11月15日	3名	東京都オンライン	
	北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	10月11日～13日	4名	北海道	
会議 研修・式典 広報	福島県スポーツ少年団指導者協議会運営委員会2回	4月24日/2月13日	各30名	福島市	
	福島県スポーツ少年団 常任委員会2回 評議員会2回	5月16日/2月17日	各80名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰2回・派遣選考委員会1回	4月/10月/2月	各8名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰式、日本スポーツ少年団顕彰伝達式	11月28日	25名	福島市	
	東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会① (六県会議)	5月8日	2名	青森県	
	東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会②	12月11日～12日	2名	宮城県	
	東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会③ (連絡協議会2回、北海道・東北ブロック2回)	2月5日～6日	3名	岩手県	
	日本スポーツ少年団会議 (委員総会2回、指導者協議会1回、事務担当者会1回)	5月・6月・2月	各1名	東京都 (オンライン併用)	
	福島県スポーツ少年団広報誌「本報第50号」の発刊	3月下旬	2,000部		

3 ふくしま広域スポーツセンター事業（公益目的事業3）

事業名	月日	人数等	会場	内容
広域スポーツセンター事業				
1 市町村等訪問	随時	6市町村 18クラブ	県内各地	市町村を訪問し、現存する総合型クラブの体制強化を図る 設立市町村を訪問し、クラブ育成の理解促進を図る
2 公認アシスタントマネージャー養成講習会	R7.8.30～31	6人	福島市	総合型クラブのマネジメントの中核を担うクラブマネージャーの養成
3 情報提供事業	随時	72クラブ	県内・ 県外各地	総合型クラブに関する各種情報を発信
4 エリアコーディネーター派遣事業	随時	7人	県内各地	各市町村および県内の総合型クラブに対し、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスできるエリアコーディネーターを派遣し、設立支援や運営充実のための指導・助言や情報提供を行う エリアコーディネーター同士のネットワークを構築するとともに、エリアコーディネーター相互のスキル向上を図りながら県内のクラブの更なる活動充実を推進する
5 地域スポーツ課題解決・環境整備支援事業	随時	53人	県内各地	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に所属する総合型クラブでの指導を承諾した総合型クラブ及び競技団体所属の指導者に対し、公益財団法人日本スポーツ協会公認資格取得または更新のための経費を補助する
福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業				
1 総会	R7.5.14	31人	福島市	総会の開催
2 常任幹事会	R7.4.25 R7.6.24 R7.7.22 R8.1.23	34人	福島市	常任幹事会の開催
3 専門部会	年5回	15人	県内各地	研修会や交流会の企画運営、広報資料の作成企画等について検討
4 研修会・交流会	研修会 R7.12.17 交流会 R7.11.19	研修会 15名 交流会 18名	県内各地	クラブ運営強化及び関係者の資質向上を目的とした研修会や、クラブ間の情報交換や交流の促進を図ることを目的とした交流会の開催
5 全国・東北事業	随時	17人	県内・ 県外各地	SC全国ネットワーク総会への出席や関連事業への参加
6 SC補助事業	随時	7地区 44クラブ	県内各地	県協議会加盟クラブが実施する事業等に対し、事業費・運営費を補助 県内7地区の地区協議会が開催する、会議、研修会、交流会をはじめとする事業費・運営費を補助
7 クラブ支援事業	随時	44クラブ	県内各地	総合型クラブへの指導・助言等の相談窓口の設置(委託)による総合型クラブ組織のネットワークの充実・強化を図る
8 人材育成事業	選考委員会 R7.11.10	4人	福島市	県内各地区連絡協議会の中核を担う人材を育成するため、公益財団法人日本スポーツ協会公認クラブマネージャー資格取得を支援する
9 広報啓発	随時	44クラブ	県内・ 県外各地	広報誌やホームページによる情報発信
10 登録・認証制度の運用	随時	16人	県内各地	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用 登録審査委員会の開催 (登録申請書の書面審査、実地審査)

公益財団法人福島県スポーツ協会賛助会員名簿

《法人・団体特別会員》

会津商工信用組合 あぶくま信用金庫 (株)アプラス (株)アラジンホールディングス (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) 大塚製薬(株)郡山出張所 笠原工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所	クリヤマジャパン(株) (株)クリーンテック 信陵建設(株) (医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場 ゼビオホールディングス(株) (株)セントラル住設 相双五城信用組合 (株)相双リテック (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所	(株)東邦銀行 東北建設(株) 日東紡績株式会社 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株)	(株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)民報印刷 陸奥テックコンサルタント(株) (株)やまと印刷 (株)ヨークベニマル 若松測量設計(株)
---	--	--	---

《法人・団体会員》

(株)会津技研 会津若松商工会議所 (株)明石スクールエフォームカンパニー (株)アポロガス (株)安藤組 石川建設工業(株) 磐城通運(株) (株)エスポアル (株)海老名建設 F S G カレッジリーグ (株)エフエム福島 (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (株)加地和組 菅野建設(株) (株)古城光科学 (株)絹川建設工業 キョウワセキユリオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ	(株)クラロン (株)グレイス福島 (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ建設(株) (株)幸楽苑 後藤建設工業(株) (株)佐藤商事 (有)佐平 (有)三共印刷所 (株)サンライト (株)J ヴィレッジ 庄司建設工業(株) 須賀川商工会議所 (株)セイユー建設 関場建設(株) (有)創世福祉事業団 (株)相双緑化土木 第一温調工業(株) 大宝建設(株)ソフトボール部 (株)高橋建設 タカラ印刷(株)	月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) (株)東武 東北索道協会福島地区部会 (株)東北装美 T & C Lab. (株)中里工務店 (株)西形商店 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 (株)ニラク・ジー・シー・ホールディングス (株)日本水泳振興会 原町港湾運送(株) 東日本テクノロジー(株) ひまわり信用金庫 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県南土建工業(株) (株)福島製作所	福島信用金庫 福島日産自動車(株) 福島ヤクルト販売(株) 福島リコピー(株) (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 丸三製紙株式会社 (株)マルト (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)本宮会計センター (株)ラジオ福島 (株)ル・プロジェ
---	---	--	---

※他に匿名希望3法人・団体

《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 北 村 清 士 須 佐 喜 夫 塚 本 泰 英 宗 形 守 敏

《個人 会員》

亀 本 哲 哉 阿 部 幸 男 安 藤 喜 勝 飯 塚 悟 悟 五十嵐 義 尾 市 村 尊 広 伊 藤 清 郷 伊 藤 隆 司	伊 藤 平 男 藤 遠 均 大 橋 哲 男 太 田 豊 秋 尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 木 村 喜 八郎 小 杉 誠	小 松 信 之 山 太 郎 野 香 里 本 孝 夫 佐 藤 祝 男 佐 藤 傳 一 佐 藤 弘 樹 佐 藤 昌 志	穴 戸 正 幸 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀子 鈴 木 義 祐 須 田 美和子 高 萩 孝 平 滝 田 勝 彦 富 田 孝 志	長 岐 博 永 田 嗣 昭 中 上 徹 典 島 茂 典 新 井 田 大 花 井 宣 明 平 石 家 治 深 谷 秀 三	福 本 隆 里 星 香 文 堀 川 哲 男 堀 目 秀 雄 水 戸 眞 由子 山 田 知 仁 渡 邊 正 仁	渡 邊 亮
--	---	--	---	--	--	-------

※他に匿名希望2名

(令和5年4月1日～現在) (敬称略 五十音順)

賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
 - 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
- 詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

問 合 せ

〒960-8043 福島市中町8番2号
福島県自治会館6階

公益財団法人 福島県スポーツ協会

電話 024(521)7896

FAX 024(521)7971

E-mail
info@sports-fukushima.or.jp



競技スポーツ分野では、第79回国民スポーツ大会において、ウエイトリフティング、陸上競技、カヌー、自転車における優勝をはじめとする、20競技76種目が入賞を果たし、18年ぶりの男女総合20位台となる「第26位」という輝かしい成績を収め、「スポーツに強いふくしま」の確立に向けて大きく躍進しました。

生涯スポーツ分野では、「スポーツ医事・トレーニング相談事業」や「親子体操教室・指導者実技講習会」などの各種事業を通して、県民の皆様の「生涯スポーツ社会の実現」につながるよう、環境づくりや指導者の養成・研修を推進してまいりました。

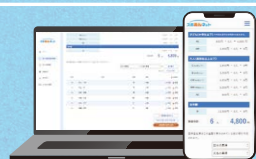
今後も、ホームページやインスタグラムをはじめとした様々な媒体を通じて最新情報を発信し、皆様と共にスポーツの力で福島を盛り上げていけるよう努力して参ります。引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。

スポーツ安全保険®

小さな掛金で
充実補償

ネットで
簡単手続き

熱中症も
対象



スポあんネット
インターネットでかんたん加入

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域展開 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金(年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動		
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	2,000円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	A1	AW 1,450円
大人 (高校生以上)	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	C 64歳以下	CW 5,000円
	区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	B 65歳以上	BW 5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和8年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
担当課 公務第二部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和8年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保



公益財団法人

スポーツ安全協会

<https://www.sportsanzen.org>

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。

